

御取扱説明書

殿

29－原池公園野球場建設工事

拡声設備

令和元年 11月 日

TOA株式会社

大阪市中央区 安土町1-8-15

大阪営業所電設グループ

機 器 構 成 表

	名 称	品 番	員 数	備 考
1	非常放送架	FS-2000	1	総合盤へ組込
2	・デジタルアナウンスマシン	EV-700	(1)	
3	・ACアダプター	AD-246	(1)	
4	・年間プログラムタイマー	TT-8000	(1)	
5	・ソリッドステート/CD レコーダー	SS-CDR250N	(1)	タスカム製
6	・非常用操作パネル 20局	FS-2000EP	(1)	
7	・非常用電源パネル	FS-2100DS	(1)	
8	・ニカド電池24V 6000mAh/5HR	NDC-2460	(1)	
9	・デジタルパワーアンプパネル 360W	FS-2136DA	(2)	
10	・非常用ジャンクションパネル 20局	FS-2120JP	(1)	
11	・電源分配パネル	FS-2000PD	(2)	
12	・ブランクパネル 2U	BK-023B	(1)	
13	・通気パネル 1U	PF-013B	(2)	
14	・ラックマウント金具	MB-15B	(1)	
15				
16	非常リモコン架	RM-2000	1	総合盤へ組込
17	・非常用リモコンパネル 20局	FS-2000RM	(1)	
18	・ブランクパネル 2U	BK-023B	(2)	
19	・ブランクパネル 3U	BK-033B	(6)	
20	・通気パネル 1U	PF-013B	(2)	
21				
22	天井埋込型スピーカー 3W	CM-2330A	32	
23	天井埋込型スピーカー用パネル 丸型	CP-233A	32	
24	天井埋込型スピーカー 3W ATT付	CM-2330AT	33	
25	天井埋込型スピーカー用パネル 丸型	CP-233A	33	
26	露出型スピーカー 3W	PC-2238	12	
27	木製壁掛型スピーカー 3W	BS-32Z	16	
28	ワイドホーンスピーカー 15W	CS-153	20	
29	スピーカー取付金具	SP-201	6	内野観客席スピーカー用
30	スピーカー取付金具	SP-131	6	外野観客席スピーカー用

TOA株式会社

機器構成表

[illegible]

TOA株式会社



FS-1000/2000シリーズ

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号		行為を強制する記号	
分解禁止	禁 止	強 制	電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源ブレーカーを遮断して販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 音が出ないとき



電源プラグを抜く

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁 止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁 止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。



禁 止

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強 制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁 止

ニカド電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+)と(-)に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強 制

ニカド電池のリサイクルについて



ニカド電池のリサイクルにご協力ください

本機にはニカド電池を使用しています。

ニカド電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

使用済みの電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。



安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

業務用機器

- この「安全上のご注意」に書かれている内容は、機器共通のものです。
- お読みになった後は、何時でも見られる所に必ず保存してください。
- 設置・据え付け工事・調整は、必ず販売店または専門業者にご相談ください。

安全上のご注意

表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

設置・据付をするとき

- ◎不安定な場所に置かないでください。また、機器の上に重いものをのせないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◎表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ◎電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
火災・感電の原因となります。
- ◎本機のACアウトレットが供給できる電力は製品に指定されてあるとおりです。
接続する装置の消費電力の合計が指定W数を超えないようにしてください。火災の原因となります。
- ◎安全アース端子は必ず接地してください。接地しないで使用すると、感電の原因となります。
ただし、ガス管は危険ですから、絶対に接続しないでください。

使用するとき

- ◎電池収納部以外のケース・端子カバー・裏ぶたなどは外さないでください。
内部には電圧の高い部分がありますので、感電の原因となります。
- ◎本機の上に水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ◎充電式乾電池や充電式機器を充電するときは、専用の充電器をお使いください。
指定以外の充電器を使用すると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因となります。

異常があるとき

- ◎画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、販売店または専門業者にご連絡ください。
- ◎万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、差し込みプラグを抜いて販売店または専門業者にご連絡ください。

廃棄するとき

- ◎電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。
電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因となります。

注意

設置・据付をするとき

- ◎本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ◎重量物の開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
転倒・落下により、けがの原因となることがあります。

使用するとき

- ◎電源コードを熱器具に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ◎差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ◎濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ◎定格以上の入力を加えた状態で使用しないでください。
アンプやスピーカが発熱し、火災の原因になることがあります。
- ◎使用中に異常(おかしいな!)と思われたときは、すぐに販売店または専門業者にご相談ください



簡易操作説明書

キャビネットラック型非常用放送設備 型名FS-2000

詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

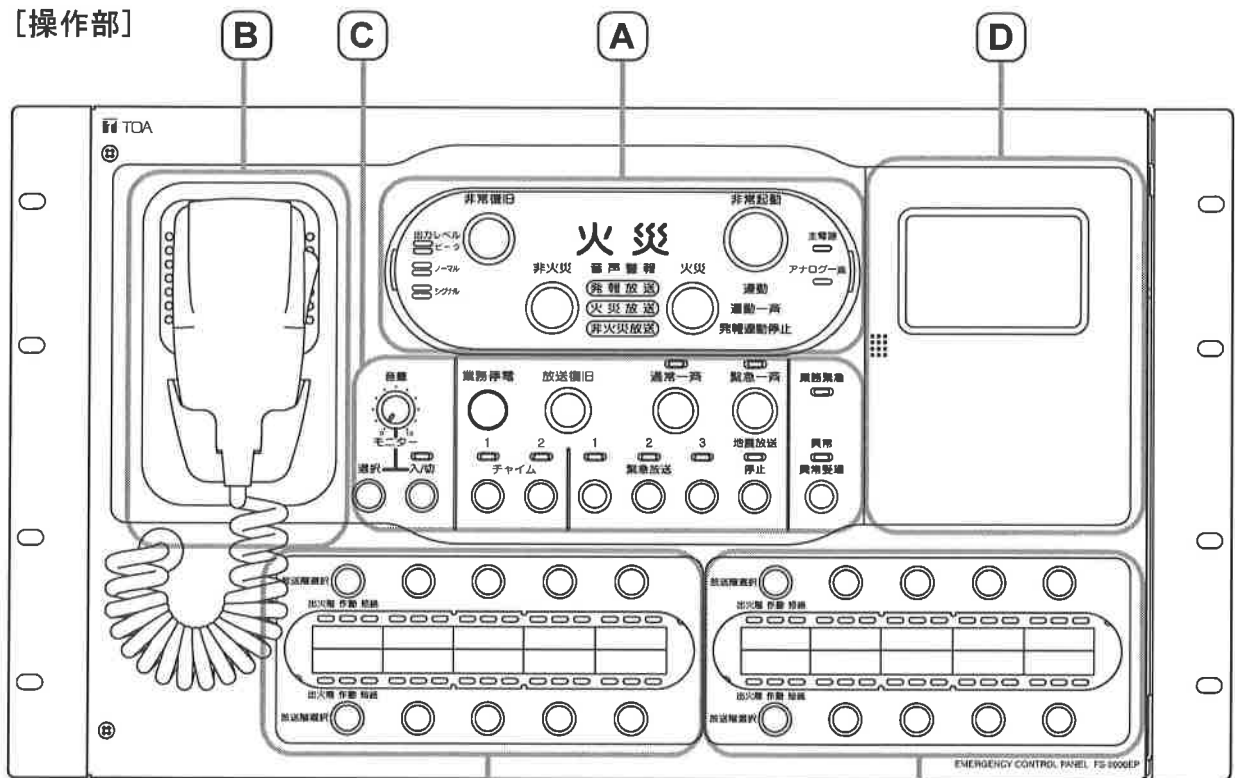
■ 非常用操作パネル FS-2000EP

概要

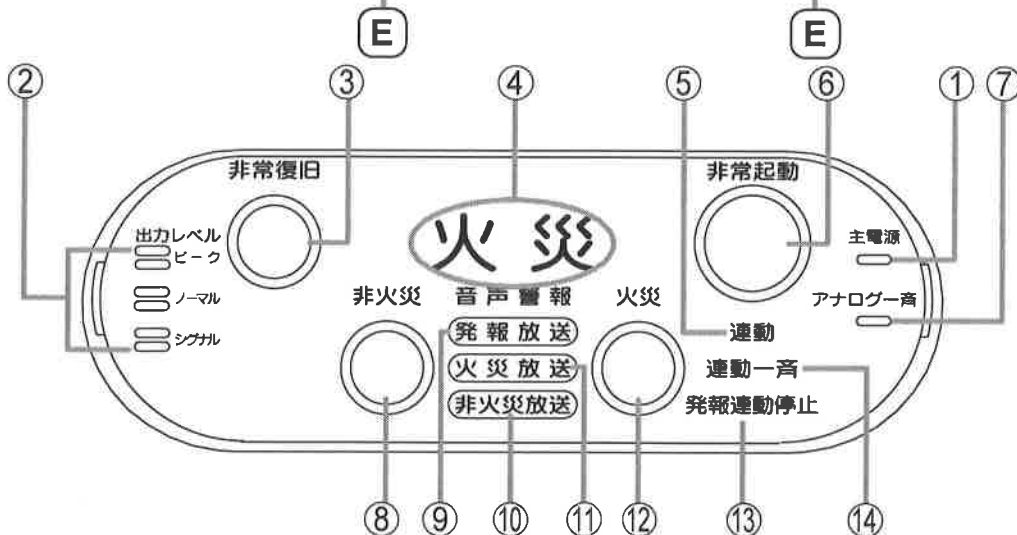
EIA規格に適合するラックに取り付けることができる6Uサイズ*の非常用操作パネルです。
非常放送以外に緊急地震放送、緊急放送、業務放送が行えます。
増設操作パネル（FS-2010EP/2020EP）を追加することで、最大80局まで対応できます。
放送階選択スイッチはグループ（複数のスピーカー回線）に割り当てることができます。
フロントマイクは音量調節が可能です。ただし、非常放送時には音量調節器の位置に関係なく最大音量になります。 *1Uサイズ=44.5mm（基準サイズ）

各部の名称とはたらき

[操作部]



● A部



1. 主電源表示灯 (緑)

本機に主電源が正常に供給されているときに点灯します。停電中および蓄電池動作時は消灯します。

2. 放送出力レベル表示灯

モニターをしている放送の出力レベルを表示します。ピーク表示灯が点灯しない範囲で使用してください。

表示灯	色	点灯レベル
ピーク	赤	+0.5 dB *
ノーマル	橙	-8 dB *
シグナル	緑	-22 dB *

* 0 dB = 1 V

ご注意

本機のフロントマイク放送中は表示されません。

3. 非常復旧スイッチ

非常放送を復旧するときに押します。非常放送状態が解除されたことを確認し、感知器・非常電話・発信機などをすべて復旧させてから押してください。

4. 火災表示灯 (赤)

自火報の感知器、非常電話、または発信機から起動がかかると自動的に点灯します。また、手動で非常起動スイッチ (6) を押したときに点灯します。

感知器発報放送中、火災放送中、非火災放送中は点灯したままです。

感知器、非常電話、発信機などをすべて復旧させたのち、非常復旧スイッチ (3) を押すと消灯します。

5. 自火報連動モード表示灯 (緑)

本機が自火報などとの連動モードに設定されているときに点灯します。

モードの設定はシステム設定時に行います。

6. 非常起動スイッチ

手動で非常放送を起動するとき、または手動で感知器発報放送から火災放送へ移行するときに押します。

7. アナログ一斉放送表示灯 (橙)

アナログ一斉放送状態のときに点灯する表示灯です。点灯中は、すべての回線に放送が流れます。

8. 非火災放送スイッチ

火災が発生していないことを確認したときに押して、非火災報放送をします。

9. 発報放送表示灯 (橙)

感知器発報放送の状態を表します。

点灯：発報放送中

点滅：発報放送の前夜

10. 非火災放送表示灯 (緑)

非火災報放送の状態を表します。

点灯：非火災報放送中

点滅：非火災報放送の後

11. 火災放送表示灯 (赤)

火災放送の状態を表します。

点灯：火災放送中

点滅：火災放送の前夜

12. 火災放送スイッチ

火災を確認したときに押して、火災放送をします。

13. 発報連動停止表示灯 (緑)

本機が発報連動停止モードに設定されているときに点灯します。

モードの設定はシステム設定時に行います。

ご注意

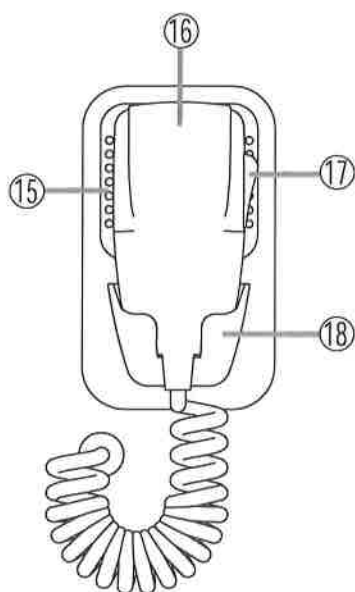
発報連動停止モードに設定するときは、所轄の消防署の承認が必要です。

14. 自火報連動一斉モード表示灯 (緑)

本機が自火報などとの連動一斉モードに設定されているときに点灯します。

モードの設定はシステム設定時に行います。

● B 部



15. モニタースピーカー

放送のモニター、非常放送時の音声ガイドメッセージ、および異常時の警告音が流れます。ハウリング防止のため、マイク放送中はモニタースピーカーからの出力は停止します。

16. フロントマイク

非常放送および業務放送時に使用するマイクです。放送階を選択した状態で、トークスイッチ(17)を押しながらマイク放送をします。業務放送時のマイク放送の音量は、設定操作部のフロントマイク音量調節器(44)を回して調節することができます。

ご注意

非常放送時はフロントマイク音量調節器の位置に関係なく最大音量になります。

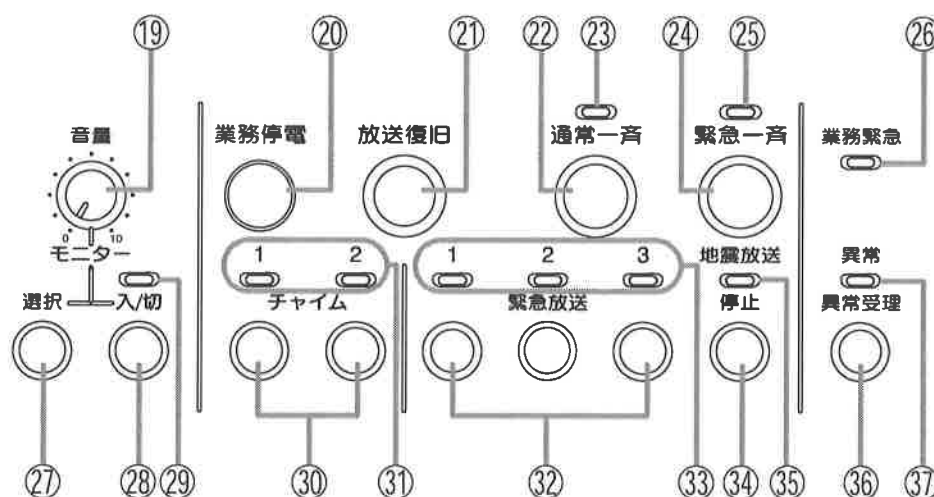
17. トークスイッチ

マイク放送時に使用します。放送階を選択した状態で、このスイッチを押しながら放送します。

18. マイクホルダー

マイクを保持するホルダーです。

● C 部



19. モニター音量調節器

モニタースピーカー(15)の音量を調節します。音量調節器を右へ回すほど音量が大きくなります。ハウリング防止のため、マイク放送中はモニタースピーカーからの出力は停止します。

ご注意

非常放送時、緊急地震放送時は、音量調節器の位置に関係なく最大音量になります。

20. 業務停電放送起動スイッチ

業務停電放送を起動します。停電時に押すと、システムが停電待機状態から立ち上がります。

ご注意

業務停電放送をするには、業務用電源パネルの設置および事前の設定が必要です。

21. 放送復旧スイッチ

放送終了時に押します。
選択されていた放送階がすべて解除されます。

ご注意

非常放送の場合、放送復旧スイッチを押すと
いったん放送を終了しますが、非常放送状態は
引き続き継続されます。
ただし、一斉移行タイマーのタイムアップ後は、
操作が無効になります。

22. 通常一斉放送スイッチ

システム設定時に本機に設定した一斉区域に放
送をするときに押します。
通常一斉放送は、アッテネーターによる音量の
調節が可能です。

ご注意

非常放送時はアッテネーターの設定に関係なく
最大音量になります。

23. 通常一斉放送表示灯（緑）

通常一斉放送スイッチ（22）で放送階を選択し
て放送をしているときに点灯します。
また、通常一斉放送スイッチと同じグループ回
線に設定された放送階選択スイッチ（48）から
通常放送モードで放送する場合にも点灯します。
非常放送時は消灯します。

24. 緊急一斉放送スイッチ

システム設定時に本機に設定した一斉区域に放
送をするときに押します。
緊急一斉放送は、アッテネーターの設定に関係
なく最大音量で放送が流れます。

25. 緊急一斉放送表示灯（緑）

緊急一斉放送スイッチ（24）で放送階を選択し
て放送をしているときに点灯します。
また、緊急一斉放送スイッチと同じグループ回
線に設定された放送階選択スイッチ（48）から
業務緊急モードで放送する場合にも点灯します。
非常放送時は一斉移行タイマーの時間切れ以降
点灯します。

26. 業務緊急表示灯（緑）

業務放送が業務緊急モードで放送されていると
きに点灯します。
業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に
関係なく最大音量で放送が流れます。
緊急地震放送中も点灯します。

27. モニター選択スイッチ

モニターをする出力系統（非常用ジャンクショ
ンパネル）を切り換えます。

28. モニター入／切スイッチ

放送モニター機能をオン／オフします。

ご注意

非常放送時および緊急地震放送時は、放送モニ
ター機能をオフにしている、自動的に音声が発
音されます。

29. モニター表示灯（緑）

放送モニター機能がオンのときに点灯します。
フロントマイクのトークスイッチ（17）がオンの
ときは消灯します。

30. チャイムスイッチ [1、2]

業務放送で、チャイムを鳴らすスイッチです。
工場出荷時は下記のとおり設定されています。
チャイム1：上り4音
チャイム2：下り4音

31. チャイム表示灯 [1、2]（緑）

チャイムが鳴っている間、点灯します。

32. 緊急放送スイッチ [1、2、3]

業務放送で、メッセージをワンタッチで放送す
るスイッチです。
メッセージはシステム設定時に登録します。

33. 緊急放送表示灯 [1、2、3]（緑）

緊急放送スイッチ（32）を押して緊急放送をし
ている間、点灯します。

34. 地震放送停止スイッチ

緊急地震放送を停止するときに押します。
緊急地震放送よりも非常放送を優先して行いた
いときに押します。
このスイッチは「緊急放送スイッチ4」として
使用することもできます。

ご注意

緊急放送スイッチ4として使用するには、あら
かじめ設定が必要です。また、付属の「緊急放
送スイッチ4用ラベル」を所定の箇所に貼り付
けてください。

35. 地震放送表示灯（緑）

緊急地震放送時に点滅します。

地震放送停止スイッチ（34）を「緊急放送スイッチ 4」として使用するとき、業務緊急放送表示灯 1～3（33）と同じはたらきとなります。

36. 異常受理スイッチ

システムに異常が発生したときに操作します。

異常警告音を停止するときや、液晶画面（38）の異常表示画面を操作するとき 사용합니다。

37. 異常表示灯（橙）

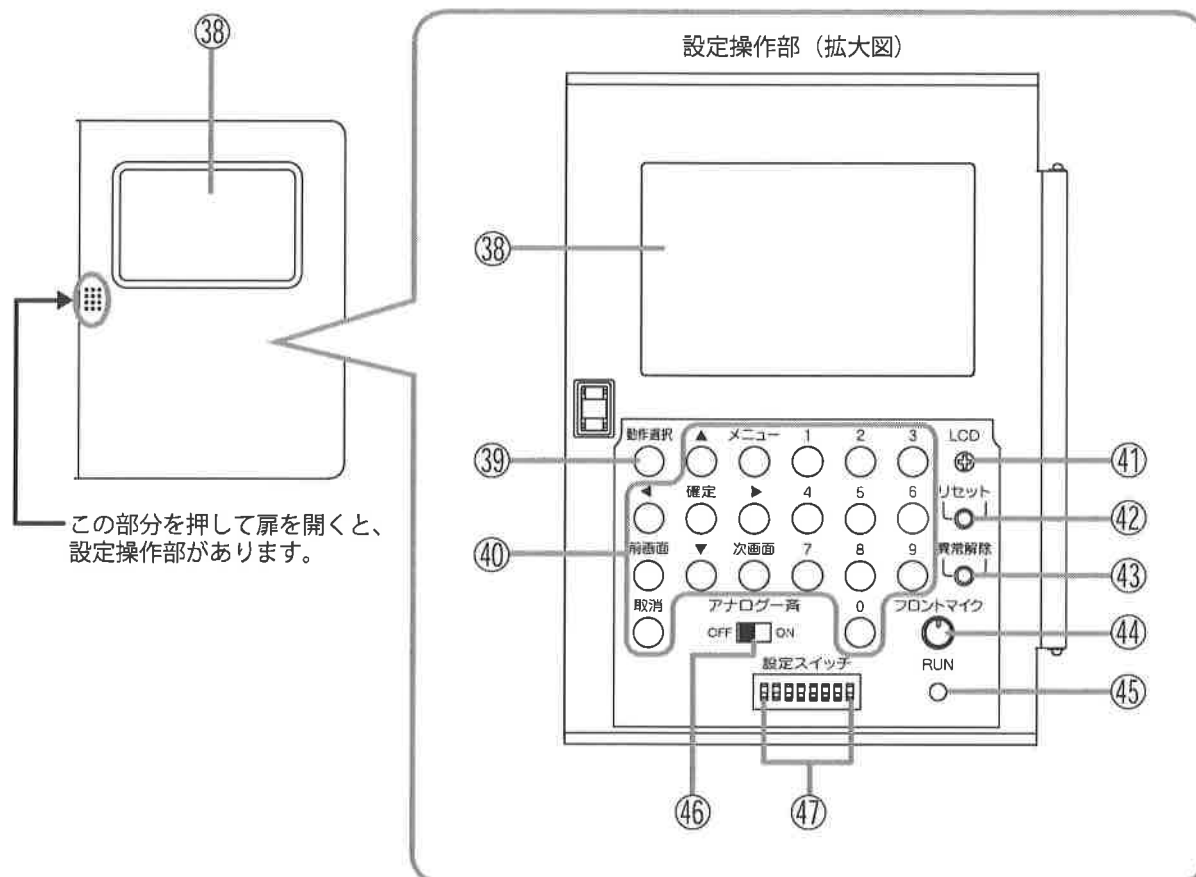
システムに異常が発生したときに点滅します。

異常受理スイッチ（36）を押すと点灯に変わります。

原因を取り除いた後、異常解除キー（43）を押すと消灯します。

※ 異常が発生したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

● D 部



38. 液晶画面

非常放送時に必要な操作ガイドの表示や、業務放送時の放送状態の表示、および各種の異常状態の表示を行います。

39. 動作選択キー

動作モードを切り換えます。

システム設定や、点検などのメンテナンス、システムの状態を確認するとき 사용합니다。

40. システム設定キー

システム設定時のカーソル移動や確定、取り消し、画面の移動、数字の入力などで使用します。

41. 液晶画面コントラスト調節器

液晶画面のコントラストを調節します。右に回すと濃くなります。

42. リセットキー

1秒以上押し続けると、システムを再起動させます。動作履歴が保存されます。

【ご注意】

再起動すると、現在行われている放送は停止します。

43. 異常解除キー

機器に異常が発生したときに、異常状態を解除します。異常の原因を取り除いた後に押してください。

押すと、液晶画面の異常表示が消えます。

44. フロントマイク音量調節器

フロントマイクの音量を調節します。右へ回すほど音量が大きくなります。

【ご注意】

非常放送時は音量調節器の位置に関係なく最大音量になります。

45. RUN 表示灯（緑）

本機が正常に動作している場合は、約1秒周期で点滅します。

※ 異常が発生したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

46. アナログー斉放送切換スイッチ

アナログー斉放送*のオン／オフを切り換えます。ON側にすると、フロントマイクによる一斉放送が全回線に流れます。異常発生時に放送したいときに使用してください。（工場出荷時の設定：OFF）

* FS-2000 システムのCPUの異常などで、非常放送、緊急地震放送、および業務放送ができないときに、フロントマイクから行う放送です。すべてのスピーカー回線に最大音量で放送されます。

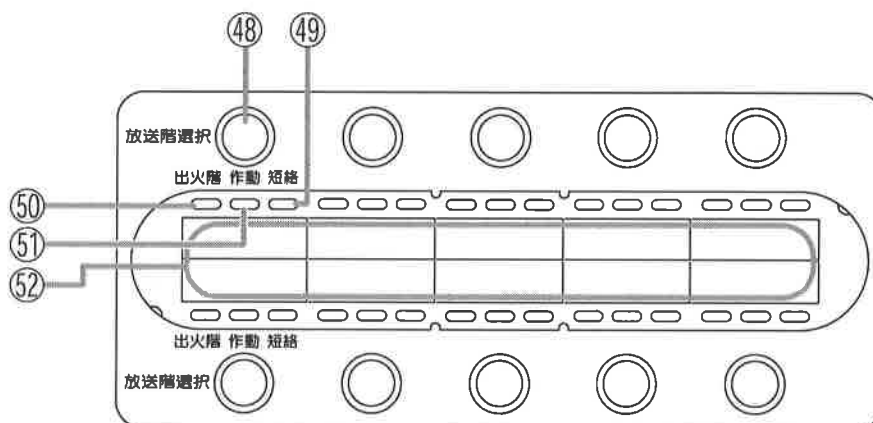
【ご注意】

- アンプの故障やスピーカー回線の短絡など、異常によっては放送がされないエリアがあります。非常時には他の伝達手段による情報伝達が必要となります。
- マイク異常のときは、マイク放送はできません。非常時には他の伝達手段による情報伝達が必要となります。

47. 設定スイッチ

使用しません。（工場出荷時の設定：すべてOFF）

● E 部

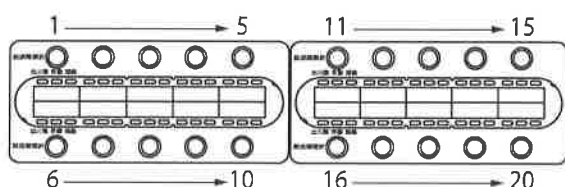


48. 放送階選択スイッチ

非常放送または業務放送をするときに、放送をする回線を選択します。

放送をする回線は、システム設定時に各スイッチに個別（1回線）またはグループ（複数回線）を登録して使用します。

本機には放送階選択スイッチを20個備えています。スイッチ番号は以下のとおりです。



49. 短絡表示灯（橙）

放送階選択スイッチ（48）に登録されている回線の一部またはすべての回線が短絡しているときに点灯します。

50. 出火階表示灯（赤）

非常時に火階を表します。

自火報から階別信号が入力されると、該当する非常系統の放送階選択スイッチ（48）の出火階表示灯が点灯します。

51. 作動表示灯（緑）

放送階選択スイッチ（48）に登録されている回線の放送状態を表します。

消灯：回線未使用

1 回点滅：1 回線以上に本体放送以外が放送中

2 回点滅：1 回線以上が優先度により待機中

点灯：全回線に放送中

52. 記名カード挿入部

記名カードを挿入するスペースです。記名カードは出荷時に挿入された状態になっています。また、別冊のシステム設定説明書に記名カードのコピー台紙が付いています。

■ 増設操作パネル FS-2010EP、FS-2020EP

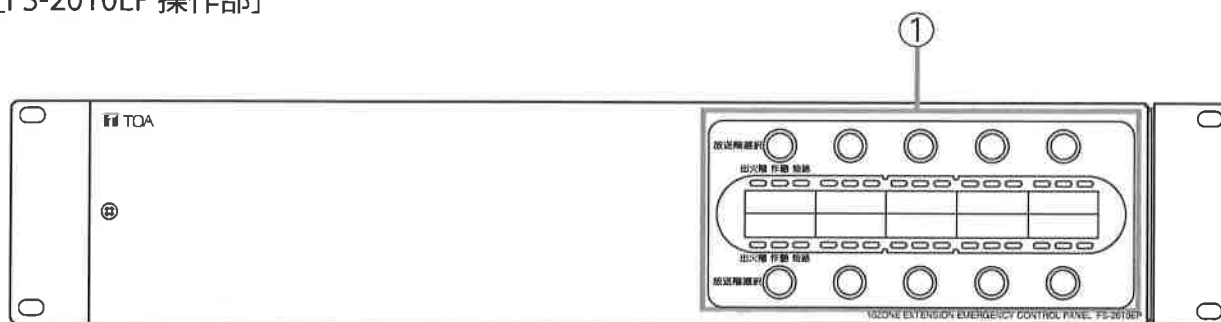
概要

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる 2U サイズ * の増設操作パネルです。FS-2010EP は 10 局、FS-2020EP は 20 局です。

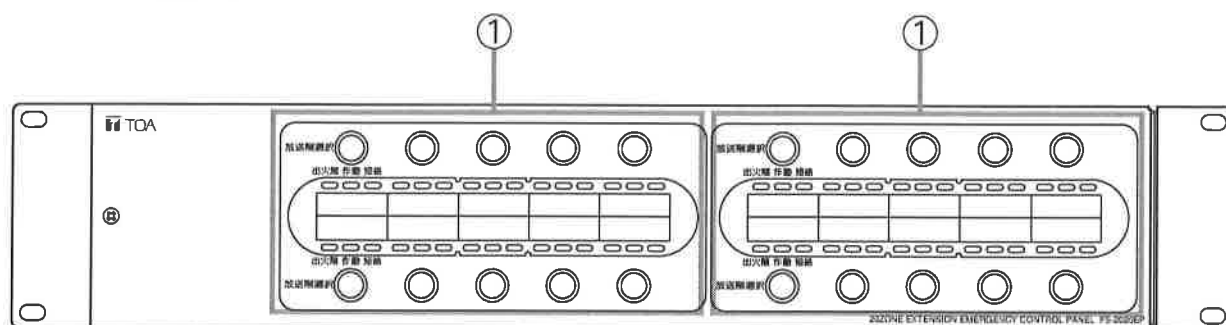
* 1U サイズ = 44.5 mm（基準サイズ）

各部の名称とはたらき


[FS-2010EP 操作部]



[FS-2020EP 操作部]



1. 操作部

非常用操作パネル FS-2000EP の操作部下部にある放送階選択スイッチ、出火階表示灯、作動表示灯、短絡表示灯、記名カード挿入部と同じはたらきです。（ 前ページ「E部」）

■ デジタルパワーアンプパネル FS-2109DA、FS-2118DA、FS-2136DA

概要

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる、軽量、コンパクト、高効率のデジタルパワーアンプパネルです。FS-2109DA と FS-2118DA は 1U サイズ *、FS-2136DA は 2U サイズ * です。FS-2136DA は 3 台までパラレル接続できます。

* 1U サイズ = 44.5 mm (基準サイズ)

各部の名称とはたらき

[FS-2109DA/2118DA 前面]



※ 図は FS-2118DA です。

[FS-2136DA 前面]



1. 電源表示灯 (緑)

本機への給電状態を表します。

点灯：非常用ジャンクションパネル、電源パネルの両方から正常に給電されています。

点滅：電源パネルからの給電が正常に行われていません。

消灯：非常用ジャンクションパネルからの給電が正常に行われていません。

2. シグナル表示灯 (緑)

約 -22 dB * を超えるレベルの音声信号が入力されると点灯します。

* 0 dB = 1 V

3. ピーク表示灯 (赤)

約 +0.5 dB * を超えるレベルの音声信号が入力されると点灯します。ピーク表示灯が点灯しない範囲で使用してください。

* 0 dB = 1 V

4. 異常表示灯 (橙)

本機に異常が発生したときに点滅します。

※ 点滅したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

■ 非常用電源パネル FS-2050DS、FS-2100DS

概要

EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる 4U サイズ*の非常用電源パネルです。

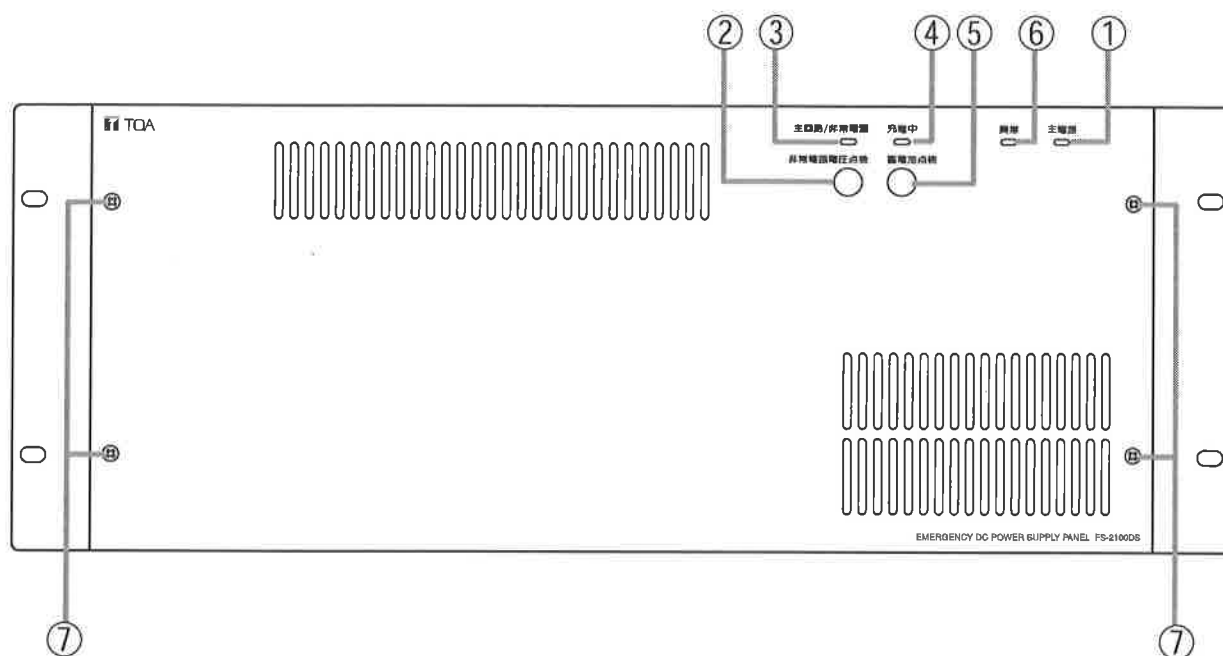
FS-2050DS は FS-2000 専用デジタルパワーアンプパネルを最大 4 台、合計出力 360 W まで駆動できます。

FS-2100DS は FS-2000 専用デジタルパワーアンプパネルを最大 4 台、合計出力 720 W まで駆動できます。

* 1U サイズ = 44.5 mm (基準サイズ)

各部の名称とはたらき

[前面]



※ 図は FS-2100DS です。

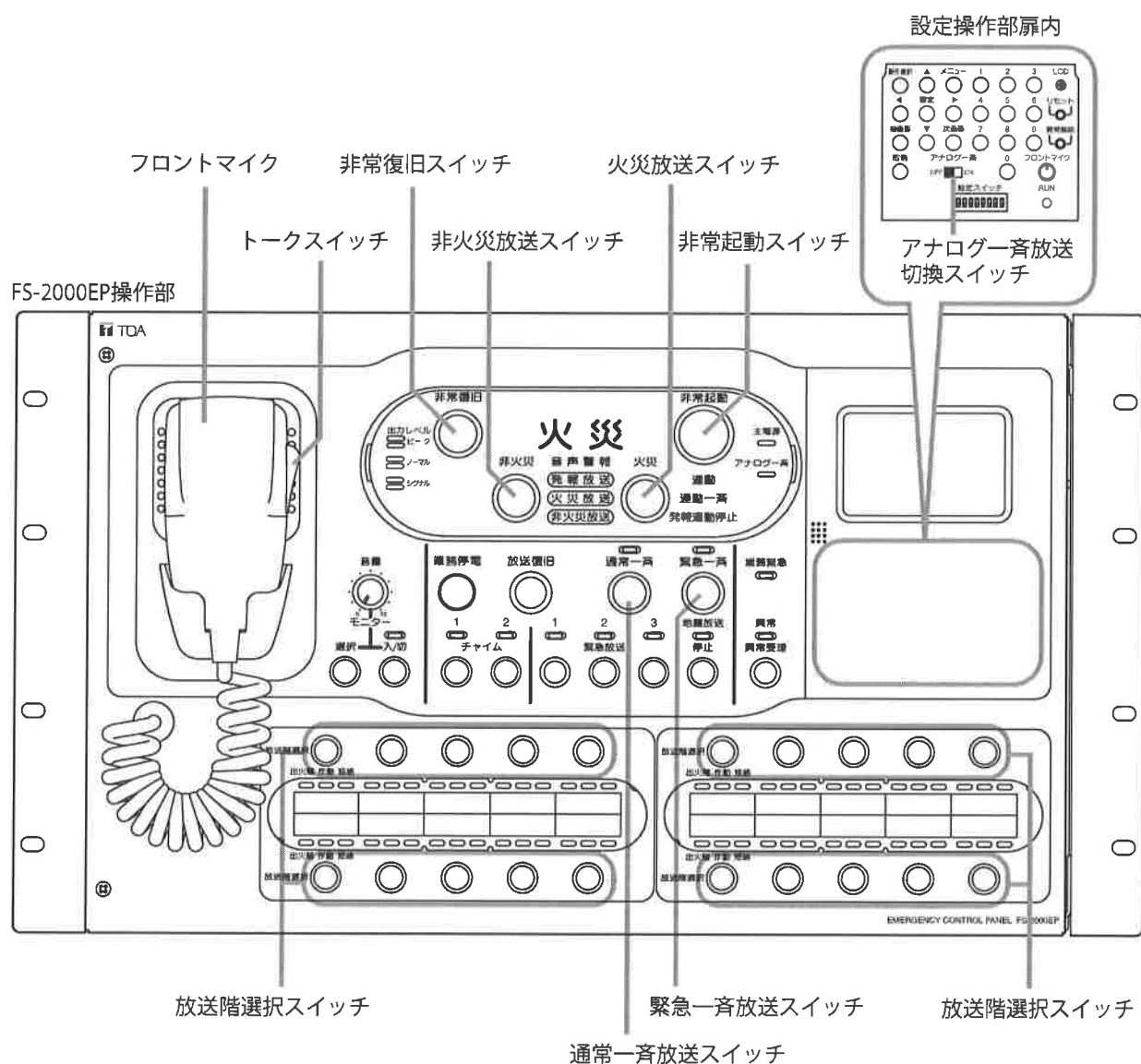
- | | |
|--|--|
| <p>1. 主電源表示灯（緑）
主電源での動作時に点灯します。</p> <p>2. 非常電源電圧点検スイッチ
非常電源の出力電圧を確認するためのスイッチです。点検時に使用します。</p> <p>3. 主回路／非常電源表示灯（緑）
主回路*の電源の状態を表します。
点灯：正常
点滅：電圧が低下（正常動作は可能）
消灯：異常</p> <p>* 常用電源動作中（蓄電池点検中を除く）は主電源の状態を表し、それ以外は非常電源の状態を表します。</p> | <p>4. 充電中表示灯（緑）
蓄電池が充電中のときに点灯します。</p> <p>5. 蓄電池点検スイッチ
蓄電池を点検するときに使用します。</p> <p>6. 異常表示灯（橙）
本機に異常が発生したときに点滅します。
※ 点滅したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。</p> <p>7. 前面パネル取付ねじ</p> |
|--|--|

非常放送のしかた

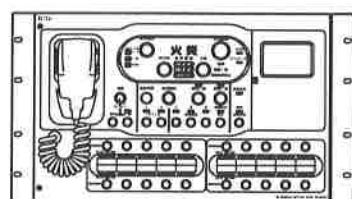
非常放送を起動する方法、および機器設置の際に設定した動作モードによって放送のしかたが異なります。決められたモードの手順をお読みください。

1. 自火報感知器起動の場合 Ⅱ P. 11
2. 非常電話・発信機起動の場合 Ⅱ P. 13
3. 手動起動の場合 Ⅱ P. 15

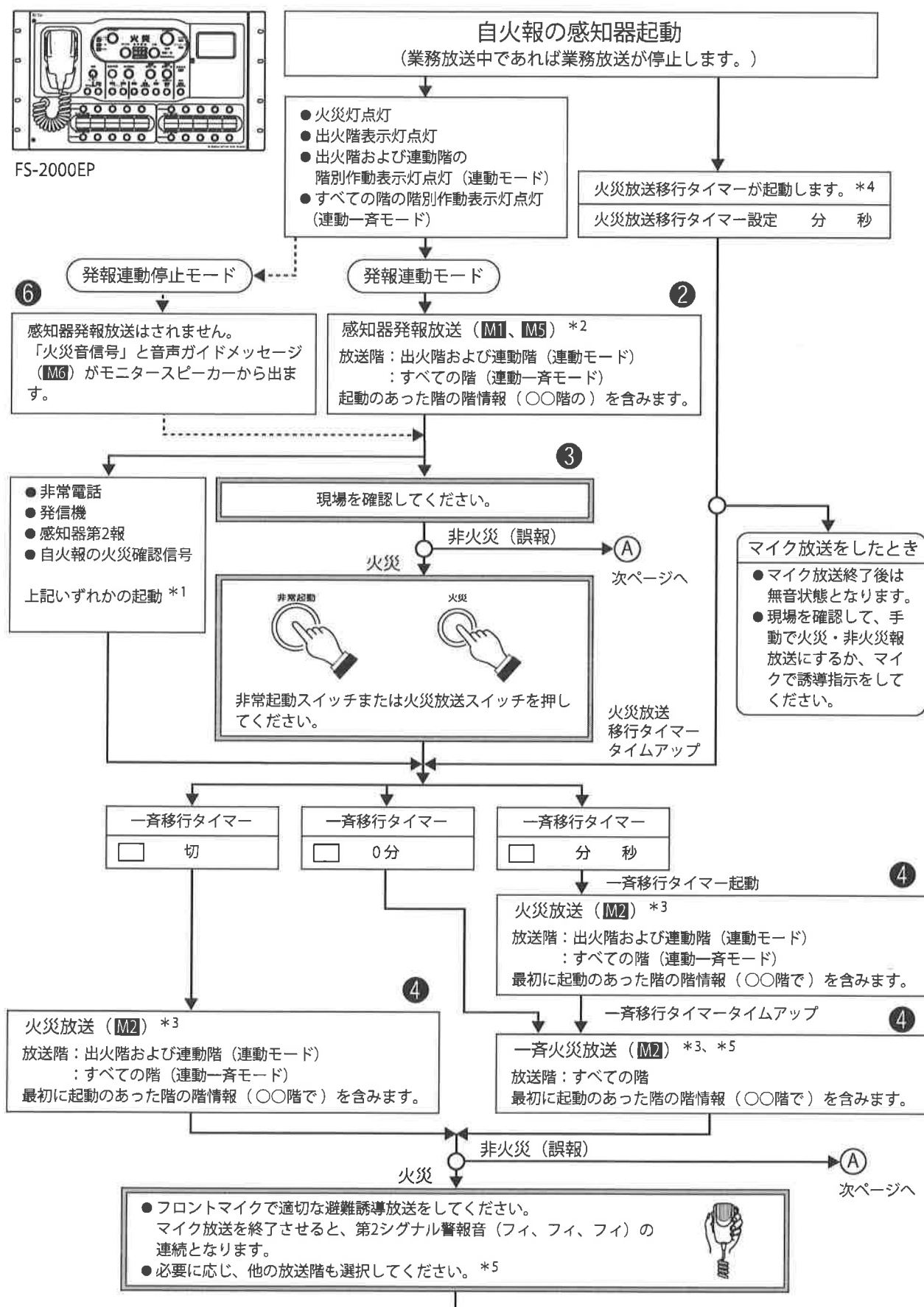
■ 非常放送の操作で使用するスイッチ



■ 自火報感知器起動の場合



FS-2000EP



④
前ページから

非火災（誤報）



非火災報放送（M3）

放送階：感知器発報放送または火災放送で放送されていた階

⑤

鎮 火

感知器、非常電話、発信機を
復旧させてください。



- 火災灯 : 消灯
- 出火階表示灯 : 消灯
- 階別作動表示灯 : 消灯

復 旧

（ 感知器起動前が業務放送中であれば、
元の業務放送状態に戻ります。）

※ M1、M2などは、音声メッセージの番号を示します。

※ 丸数字は、その時点における操作パネル上の液晶表示を表します。

感知器、非常電話、発信機を復旧させないで非常復旧スイッチを押した場合は、まだ火災状態と判断して、非常放送を始めます。

非火災や鎮火が確認されたときは、必ず感知器、非常電話、発信機を復旧させてから非常復旧スイッチを押してください。

マイク放送は最優先なので、いつでも放送することができます。*6

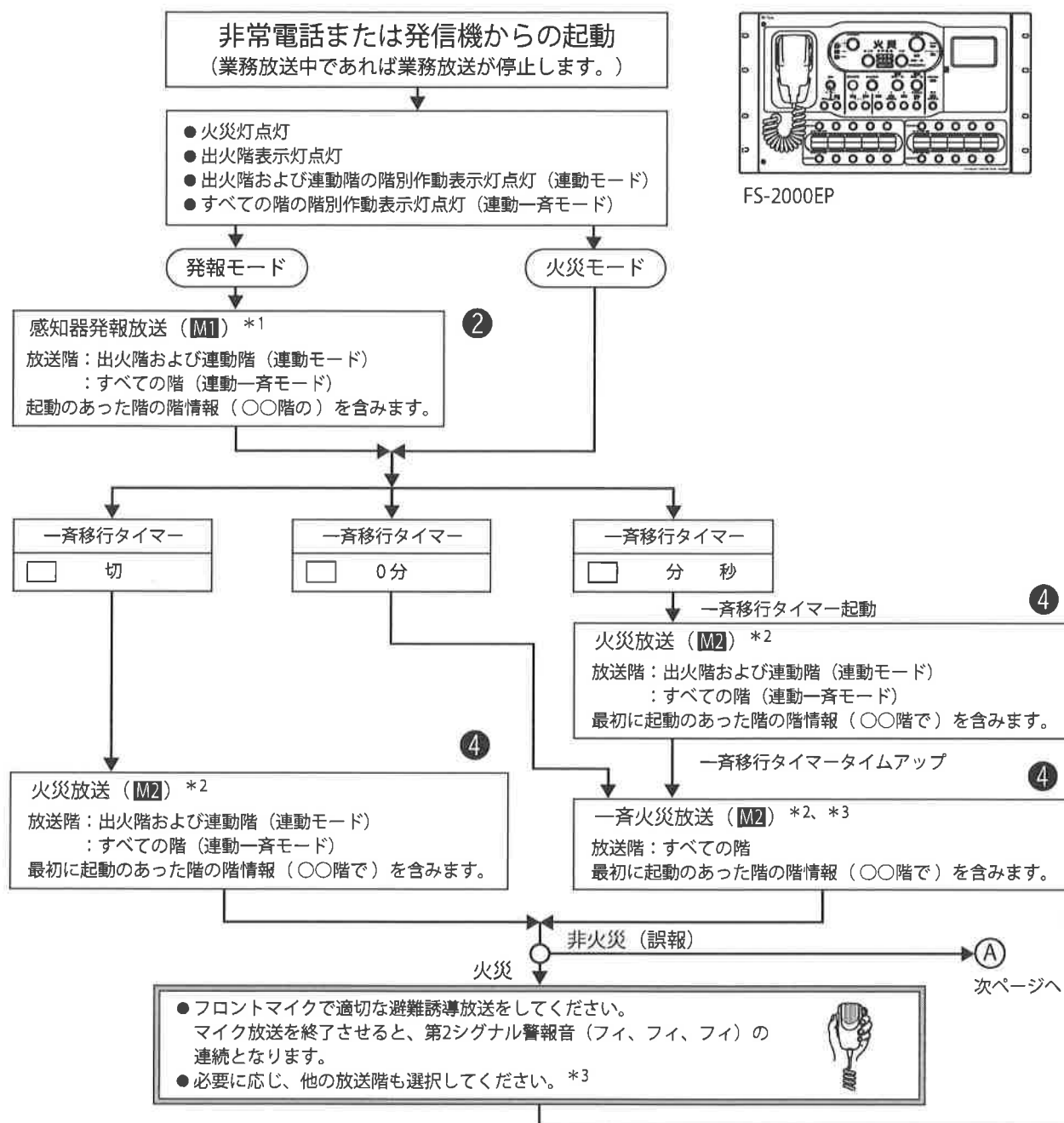
[操作中に動作が不安定なときは・・・]

設定操作部扉内のアナログー斉放送切換スイッチをON側にしてください。
フロントマイクから、業務緊急モードで一斉放送を行うことができます。

アナログー斉
OFF ☐ ON ☒ アナログー斉放送
切換スイッチ

- *1 異なる階の感知器が同時に起動したとき、または発報放送中に別の階の感知器が起動したときは、発報放送のメッセージ終了後、すぐに火災放送になります。
- *2 異なる階の感知器が同時に起動したときは、階メッセージ番号が最も小さい階の階情報（〇〇階の）を含んだ感知器発報放送を行います。（階メッセージ番号については別冊のシステム設定説明書を参照してください。）
- *3 感知器発報放送後、新たに別の階の感知器が起動したときでも、火災放送では最初に起動のあったときの階情報（〇〇階で）を含んだ音声メッセージだけが放送されます。
- *4 火災放送移行タイマー作動中に放送復旧スイッチを押して、放送が復旧したときも火災放送移行タイマーは停止せず、作動を継続します。
- *5 一斉移行タイマーがタイムアップした後は、放送復旧を含む放送階の変更はできません。
一斉放送だけになります。
- *6 ただし、緊急地震放送は非常放送よりも優先されます。緊急地震放送中に非常放送をしたいときは、緊急地震放送停止スイッチを押して緊急地震放送を終了する必要があります。

■ 非常電話・発信機起動の場合



*1 異なる階の非常電話・発信機が同時に起動したときは、階メッセージ番号が最も小さい階の階情報 (〇〇階の) を含んだ感知器発報放送を行います。

*2 感知器発報放送後、新たに別の階の非常電話・発信機が起動したときでも、火災放送では最初に起動のあった階の階情報 (〇〇階で) を含んだ音声メッセージだけが放送されます。

*3 一斉移行タイマーがタイムアップした後は、放送復旧を含む放送階の変更はできません。
一斉放送だけになります。

*4 ただし、緊急地震放送は非常放送よりも優先されます。緊急地震放送中に非常放送をしたいときは、緊急地震放送停止スイッチを押して緊急地震放送を終了する必要があります。

①
前ページから

非火災（誤報）



非火災報放送（M3）

放送階：感知器発報放送または火災放送で放送されていた階

5

鎮火

感知器、非常電話、発信機を
復旧させてください。



- 火災灯 : 消灯
- 出火階表示灯 : 消灯
- 階別作動表示灯 : 消灯

復旧

（非常電話または発信機起動前が業務放送中）
であれば、元の業務放送状態に戻ります。）

※ M1、M2などは、音声メッセージの番号を示します。

※ 丸数字は、その時点における操作パネル上の液晶表示を表します。

感知器、非常電話、発信機を復旧させないで非常復旧スイッチを押した場合は、まだ火災状態と判断して、非常放送を始めます。

非火災や鎮火が確認されたときは、必ず感知器、非常電話、発信機を復旧させてから非常復旧スイッチを押してください。

マイク放送は最優先なので、いつでも放送することができます。*4

[操作中に動作が不安定なときは・・・]

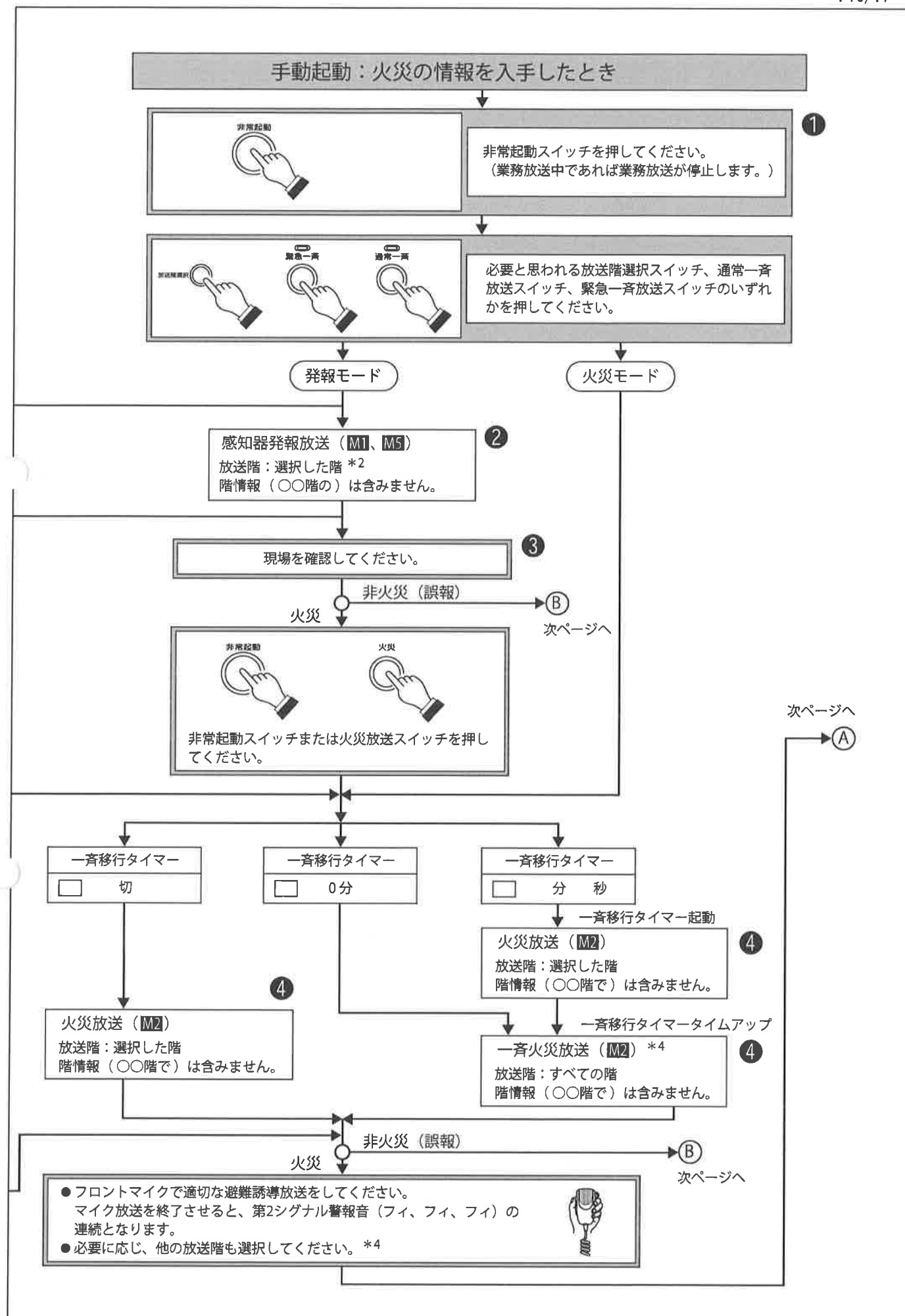
設定操作部扉内のアナログー斉放送切換スイッチをON側にしてください。
フロントマイクから、業務緊急モードで斉放送を行うことができます。

アナログー斉

OFF ☐ ON

アナログー斉放送
切換スイッチ





前ページから

⑤

非火災（誤報）



非火災報放送（M3）

放送階：感知器発報放送または火災放送で放送されていた階

⑤

前ページから

④

鎮火

感知器、非常電話、発信機を
復旧させてください。

- 火災灯 : 消灯
- 出火階表示灯 : 消灯
- 階別作動表示灯 : 消灯

復旧

(手動起動前が業務放送中であれば、
元の業務放送状態に戻ります。)

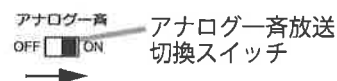
感知器、非常電話、発信機を復旧させないで非常復旧スイッチを押した場合は、まだ火災状態と判断して、非常放送を始めます。

非火災や鎮火が確認されたときは、必ず感知器、非常電話、発信機を復旧させてから非常復旧スイッチを押してください。

マイク放送は最優先なので、いつでも放送することができます。*5

[操作中に動作が不安定なときは・・・]

設定操作部扉内のアナログ斉放送切換スイッチをON側にしてください。
フロントマイクから、業務緊急モードで斉放送を行うことができます。



- *1 発報放送中に起動したときは、メッセージ終了後に火災放送になります。
- *2 放送階を手動で選択したときは、選択した階のみに放送されます。
- *3 火災放送移行タイマー作動中に放送復旧スイッチを押して、放送が復旧したときも火災放送移行タイマーは停止せず、作動を継続します。
- *4 一斉移行タイマーがタイムアップした後は、放送復旧を含む放送階の変更はできません。一斉放送だけになります。
- *5 ただし、緊急地震放送は非常放送よりも優先されます。緊急地震放送中に非常放送をしたいときは、緊急地震放送停止スイッチを押して緊急地震放送を終了する必要があります。



デジタルアナウンスマシン

簡易操作説明書

EV-700

詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

概 要

本機は、マイクや演奏機器などを接続して録音した内容や、別途用意した音源データを再生放送する録音・再生用デジタルアナウンスマシンです。

商業施設、公共施設での定時放送・注意喚起・案内放送に適しています。

専用の EV-700 設定ソフトウェア *¹ を用いて設定や音源データの転送を行うことができます。

*¹ 付属の CD に収録されています。

特 徴

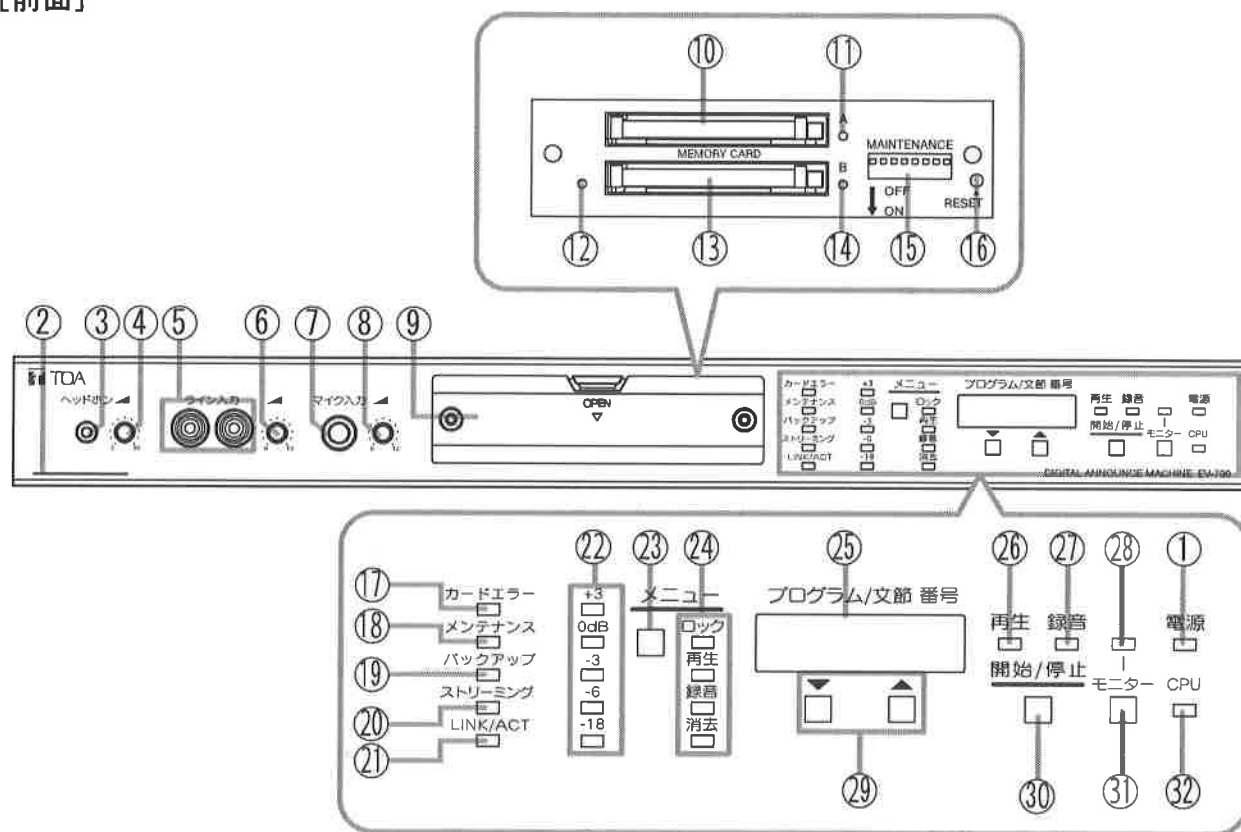
- パソコンとのネットワーク接続により本機の設定・制御、音源の書き換えができます。
- 緊急時に簡単な操作で録音・繰り返し再生ができます。
- 付属のメモリーカードに収録しているプリセット音源*²により、チャイムなどをすぐに放送できます。
- メモリーカードが故障した場合でも自動で別のメモリーカードに切り換えて放送できます。
- 録音した文節を組み合わせでプログラムとして再生できます。
- プログラムに優先度を設定できます。

*² 出荷時のメモリーカードに書き込まれている音源です。

各部の名称とはたらき

[前面]

[フロントカバー⑨内部]



1. 電源表示灯（緑）
電源を供給すると点灯します。
2. MAC アドレス
本機の MAC アドレス*1 です。
*1 ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12 桁の 16 進法で表現されます。
3. ヘッドホン出力端子
0 dB*2、100 Ω、モノラル、φ 3.5 ミニジャック（3 P）
ヘッドホンを接続します。
4. ヘッドホン出力音量つまみ
ヘッドホン出力端子（3）の音量を調節します。
5. ライン入力端子
−20 dB*2、10 k Ω、RCA ピンジャック
録音用や放送用の外部演奏機器を接続します。
ご注意
ステレオで入力すると、機器内部で L ch と R ch をミックスしてモノラルに変換されます。
この端子と後面の入出力端子のライン入力端子の信号は機器内部でミックスされます。
6. ライン入力音量つまみ
ライン入力端子（5）と後面の入出力端子のライン入力端子の音量を調節します。
7. マイク入力端子
−55 dB*2、600 Ω、不平衡、φ 6.3 ホーンジャック（2 P）
録音用や放送用のマイクを接続します。
ご注意
ファンタム電源は供給されません。
8. マイク入力音量つまみ
マイク入力端子（7）の音量を調節します。
9. フロントカバー
誤操作防止のカバーです。
メモ
工場出荷時はねじ止めされていません。
必要に応じてカバー両側を付属の小ねじ M 3 × 12 で固定します。
10. メモリーカードスロット A
メモリーカード（以下、メモリーカード A）を挿入します。
11. メモリーカードスロット A アクセス表示灯（緑）
メモリーカード A に対してファイル書き込み中、読み込み中に点灯または点滅します。

*2 0 dB = 1 V

12. メモリーカード B 使用中表示灯 (緑)
メモリーカードスロット B 内のメモリーカード (以下、メモリーカード B) で運用しているときに点滅します。
13. メモリーカードスロット B
メモリーカード B を挿入します。
14. メモリーカードスロット B アクセス表示灯 (緑)
メモリーカード B に対してファイル書き込み中、読み込み中に点灯または点滅します。
15. メンテナンス用 DIP スイッチ
メンテナンスを行うときに使用する DIP スイッチです。
- ご注意**
いずれかのスイッチが ON になっているとメンテナンスモードになり、接点制御や EV-700 設定ソフトウェアによる放送ができません。
メンテナンス終了後は必ずスイッチをすべて OFF にしてください。
16. リセットスイッチ
2 秒以上押すと、機器が再起動します。
- ご注意**
メモリーカードスロット A アクセス表示灯 (11) またはメモリーカードスロット B アクセス表示灯 (14) が点灯または点滅しているときはリセットしないでください。
17. カードエラー表示灯 (赤)
カードエラーが発生しているときに点灯します。
18. メンテナンス表示灯 (橙)
メンテナンスモードになっているときに点灯します。
19. バックアップ表示灯 (緑)
バックアップ機能が ON のときに点灯します。
20. ストリーミング表示灯
使用しません。
21. LINK/ACT 表示灯 (緑)
本機がネットワークに接続されると点灯し、データ送受信中は点滅します。
- メモ**
後面の LAN 端子の LINK/ACT 表示灯と同期して点灯・点滅します。

22. レベルメーター

放送中の音声出力レベル、または録音中の音声入力レベルを表示します。

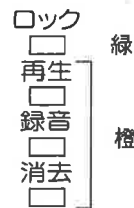


23. メニューキー

モードを選択します。

24. モード表示灯

現在のモード (ロックモード、再生モード、録音モード、または消去モード) を表示します。



25. 状態表示器

プログラム番号、文節番号、設定内容、エラーなどを表示します。

26. 再生表示灯 (緑)

再生中に点灯します。

27. 録音表示灯 (赤)

録音待機中に点滅し、録音中に点灯します。

28. モニター表示灯 (橙)

モニター中に点灯します。

29. 上下キー

プログラム番号、文節番号、設定値の選択をします。

30. 開始/停止キー

各モードに応じた機能を開始または停止します。

31. モニターキー

再生、録音、消去中でないときにこのキーを押すと、モニター中になります。モニター中はモニター表示灯が点灯し、ヘッドホン出力端子 (3) からモニター音出力されます。モニター音は入出力端子のライン出力1、2端子からは出力されませんので、外部に放送せずにヘッドホンのみで音声を聞くことができます。

32. CPU RUN 表示灯 (緑)

本機が正常に動作しているときに点滅します。異常時は点灯または消灯します。

年間プログラムタイマー

TT-8000

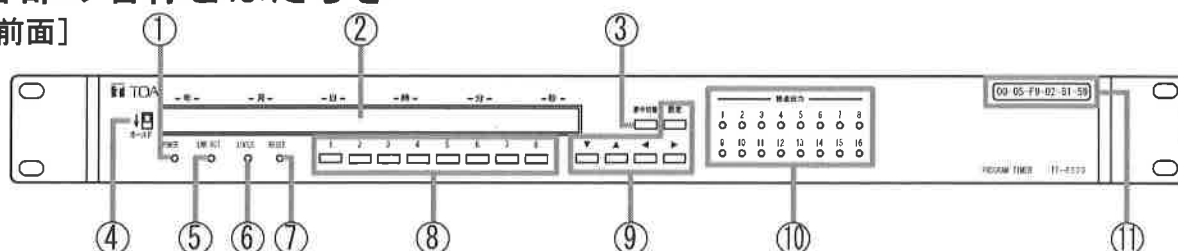
詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

概要

パソコンで設定するプログラムタイマーです。
 付属の設定ソフトウェアにより、年間、週間のプログラムが可能です。
 最大16接点出力により機器を制御することができます。
 NTPサーバーまたは接点により時刻補正ができます。

各部の名称とはたらき

[前面]



1. 電源表示灯 [POWER] (緑)
 付属の電源コードを AC コンセントに接続して電源を入れると点灯します。
2. 日時表示部 [年、月、日、時、分、秒]
 設定されている次の情報を表示します。
 ・ 現在日時
 ・ 本日および翌日の運用パターン
 ・ ソフトウェアバージョン
 ・ IP アドレス
3. 表示切替スイッチ [表示切替]
 押すたびに、日時表示部 (2) の表示を切り替えます。
 時刻設定モードで現在時刻を設定せずに時刻設定モードを終了するときにも使用します。
4. ホールドスイッチ [↓、ホールド]
 リセットキーを除く前面パネルのキーまたはスイッチによる操作の有効/無効を切り替えます。
 スwitchの位置を下側にすると、ホールドスイッチとリセットキー以外の操作が無効になります。
5. LINK/ACT 表示灯 [LNK/ACT] (緑)
 本機をネットワークに接続すると点灯し、データを送受信中は点滅します。
6. STATUS 表示灯 [STATUS] (赤)
 内部の記憶媒体 (フラッシュメモリー) ヘデータ書き込み中は点灯し、本機に異常があると点滅します。
7. リセットキー [RESET]
 押すと、STATUS 表示灯 (6) が点灯した後すぐに消灯し、本機を再起動します。
 3 秒以上押し続けると、本機の設定データを初期化します。
8. 操作スイッチ [1 ~ 8]
 各スイッチに割り当てられた機器を起動させたり、当日または翌日の運用パターンを変更したりします。
 設定は、付属の TT-8000 設定ソフトウェアを使ってパソコンで行います。
9. 時刻設定キー
 本機の操作で、システムの現在日時を設定します。
 ● 設定キー [設定]
 日時表示部 (2) で現在時刻を表示中に 3 秒以上長押しすると、時刻設定モードに切り替わり、「秒」表示が点滅します。
 日時表示部 (2) の時刻表示が点滅中に押すと、機器および設定ソフトウェアの現在時刻が変更されます。
 ● 左右シフトキー [◀、▶]
 時刻設定モード時のみ有効となります。
 押すと、日時表示部 (2) の点滅部を左右へ移動します。
 [メ モ]
 「年」表示が点滅しているときに左シフトキーを押すと、「秒」に移動します。
 「秒」表示が点滅しているときに右シフトキーを押すと、「年」に移動します。
 ● 上下シフトキー [▲、▼]
 時刻設定モード時のみ有効となります。
 押すと、日時表示部 (2) の点滅部の値を変更します。
 [設定範囲]
 年 : 00 ~ 99、月 : 01 ~ 12、日 : 01 ~ 31、
 時 : 00 ~ 23、分 : 00 ~ 59、秒 : 00 ~ 59
 [メ モ]
 最大値を表示中に上シフトキーを押すと、最小値を表示します。
 最小値を表示中に下シフトキーを押すと、最大値を表示します。
10. 接点出力状態表示灯 [接点出力、1 ~ 16] (緑)
 接点出力が ON のときに点灯します。
11. MAC アドレス
 本機の MAC アドレスです。
 ー (ハイフン) 区切りの 12 桁の英数字です。

非常用リモコン

簡易操作説明書 型名RM-2000

詳細は、商品に付属の取扱説明書をお読みください。

■ 非常用リモコンパネル FS-2000RM

概要

ラック型非常用放送設備（FS-2000シリーズ）専用の、EIA規格に適合するラックに取り付けることができる6Uサイズ*の非常用リモコンパネルです。

非常放送以外に緊急地震放送、緊急放送、業務放送が行えます。

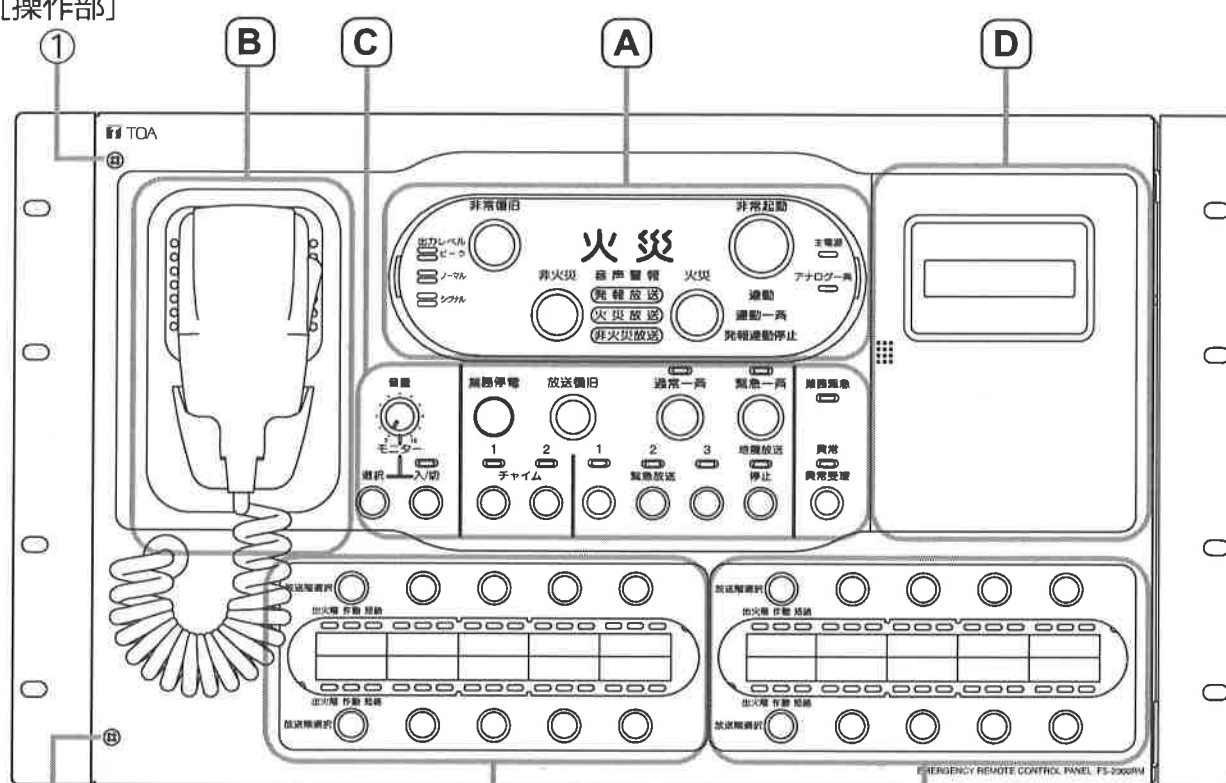
増設操作パネル（FS-2010EP/2020EP）を追加することで、最大80局まで対応できます。

放送階選択スイッチはグループ（複数のスピーカー回線）に割り当てることができます。

フロントマイクは音量調節が可能です。ただし、非常放送時には音量調節器の位置に関係なく最大音量になります。 * 1Uサイズ＝44.5mm（基準サイズ）

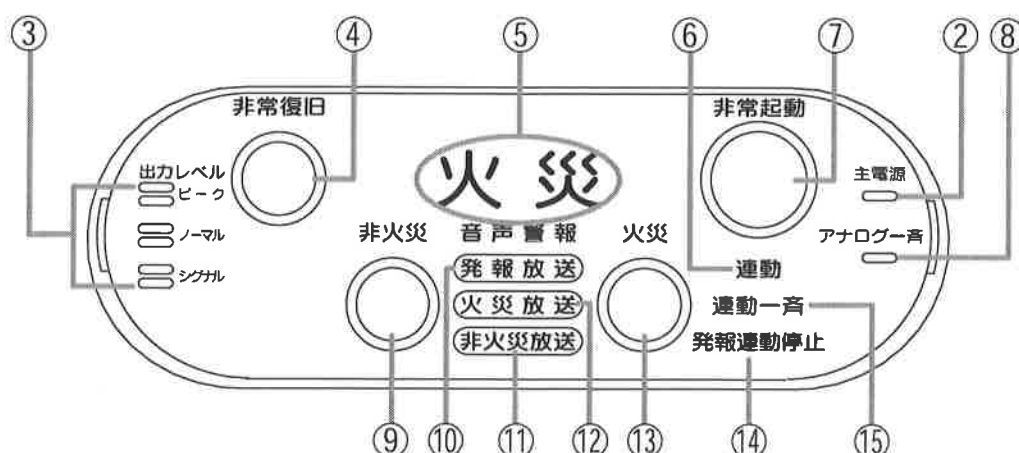
各部の名称とはたらき

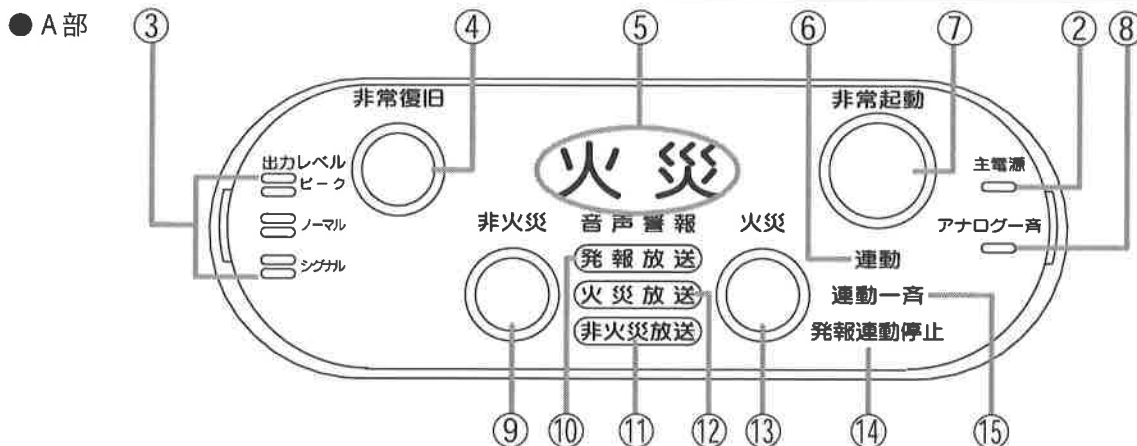
[操作部]



① 1. 前面扉固定ねじ

● A部





2. 主電源表示灯 (緑)

本機に主電源が正常に供給されているときに点灯します。本機と非常用電源パネルを接続している場合で、停電中および蓄電池動作時は消灯します。

3. 放送出力レベル表示灯

モニターをしている放送の出力レベルを表示します。ピーク表示灯が点灯しない範囲で使用してください。

表示灯	色	点灯レベル
ピーク	赤	-9.5 dB *
ノーマル	橙	-18 dB *
シグナル	緑	-32 dB *

* 0 dB = 1 V

ご注意

本機のフロントマイク放送中は表示されません。

4. 非常復旧スイッチ

非常放送を復旧するときに押します。非常放送状態が解除されたことを確認し、感知器・非常電話・発信機などをすべて復旧させてから押してください。

5. 火災表示灯 (赤)

自火報の感知器、非常電話、または発信機から起動がかかると自動的に点灯します。また、手動で非常起動スイッチ (7) を押したときに点灯します。

感知器発報放送中、火災放送中、非火災放送中は点灯したままです。

感知器、非常電話、発信機などをすべて復旧させたのち、非常復旧スイッチ (4) を押すと消灯します。

6. 自火報連動モード表示灯 (緑)

本機が自火報などとの連動モードに設定されているときに点灯します。

7. 非常起動スイッチ

手動で非常放送を起動するとき、または手動で感知器発報放送から火災放送へ移行するときに押します。

8. アナログー斉放送表示灯 (橙)

アナログー斉放送*状態のときに点灯する表示灯です。点灯中は、すべての回線に放送が流れます。

* FS-2000 システムのCPUの異常などで、非常放送、緊急地震放送、および業務放送ができないときに、フロントマイクから行う放送です。すべてのスピーカー回線に最大音量で放送されます。

9. 非火災放送スイッチ

火災が発生していないことを確認したときに押して、非火災報放送をします。

10. 発報放送表示灯 (橙)

感知器発報放送の状態を表します。

点灯：発報放送中

点滅：発報放送の前後

11. 非火災放送表示灯 (緑)

非火災報放送の状態を表します。

点灯：非火災報放送中

点滅：非火災報放送の後

12. 火災放送表示灯 (赤)

火災放送の状態を表します。

点灯：火災放送中

点滅：火災放送の前後

13. 火災放送スイッチ

火災を確認したときに押して、火災放送をします。

14. 発報連動停止表示灯 (緑)

本機が発報連動停止モードに設定されているときに点灯します。

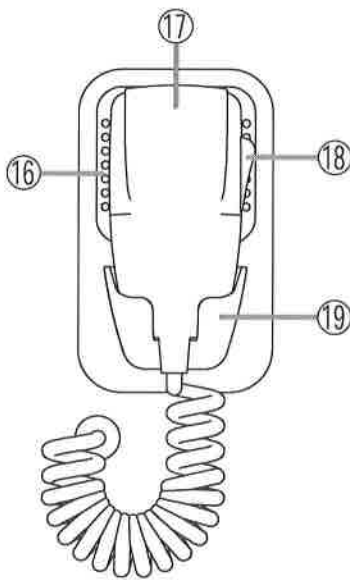
ご注意

発報連動停止モードに設定するときには、所轄の消防署の承認が必要です。

15. 自火報連動一斉モード表示灯 (緑)

本機が自火報などとの連動一斉モードに設定されているときに点灯します。

● B部



16. モニタースピーカー

放送のモニター、非常放送時の音声ガイドメッセージ、および異常時の警告音が流れます。
ハウリング防止のため、マイク放送中はモニタースピーカーからの出力は停止します。

17. フロントマイク

非常放送および業務放送時に使用するマイクです。放送階を選択した状態で、トークスイッチ(18)を押しながらマイク放送をします。
業務放送時のマイク放送の音量は、設定操作部のフロントマイク音量調節器(40)を回して調節することができます。

ご注意

非常放送時はフロントマイク音量調節器の位置に関係なく最大音量になります。

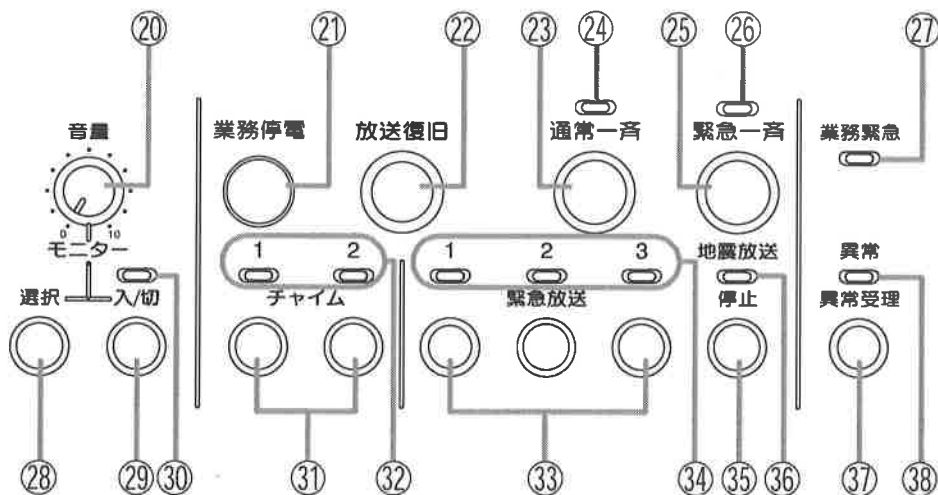
18. トークスイッチ

マイク放送時に使用します。
放送階を選択した状態で、このスイッチを押しながら放送します。

19. マイクホルダー

マイクを保持するホルダーです。

● C部



20. モニター音量調節器

モニタースピーカー(16)の音量を調節します。音量調節器を右へ回すほど音量が大きくなります。
ハウリング防止のため、マイク放送中はモニタースピーカーからの出力は停止します。

ご注意

非常放送時、緊急地震放送時は、音量調節器の位置に関係なく最大音量になります。

21. 業務停電放送起動スイッチ

業務停電放送を起動します。
停電時に押すと、システムが停電待機状態から立ち上がります。

ご注意

業務停電放送をするには、業務用電源パネルの設置および事前の設定が必要です。

22. 放送復旧スイッチ

放送終了時に押します。
選択されていた放送階がすべて解除されます。

ご注意

非常放送の場合、放送復旧スイッチを押すと
いったん放送を終了しますが、非常放送状態は
引き続き継続されます。

23. 通常一斉放送スイッチ

システム設定時に本機に設定した一斉区域に放
送をするときに押します。
通常一斉放送は、アッテネーターによる音量の
調節が可能です。

ご注意

非常放送時はアッテネーターの設定に関係なく
最大音量になります。

24. 通常一斉放送表示灯（緑）

通常一斉放送スイッチ（23）で放送階を選択し
て放送をしているときに点灯します。
また、通常一斉放送スイッチと同じグループ回
線に設定された放送階選択スイッチ（45）から
通常放送モードで放送する場合にも点灯します。
非常放送時は消灯します。

25. 緊急一斉放送スイッチ

システム設定時に本機に設定した一斉区域に放
送をするときに押します。
緊急一斉放送は、アッテネーターの設定に関係
なく最大音量で放送が流れます。

26. 緊急一斉放送表示灯（緑）

緊急一斉放送スイッチ（25）で放送階を選択し
て放送をしているときに点灯します。
また、緊急一斉放送スイッチと同じグループ回
線に設定された放送階選択スイッチ（45）から
業務緊急モードで放送する場合にも点灯します。
非常放送時は一斉移行タイマーの時間切れ以降
点灯します。

27. 業務緊急表示灯（緑）

業務放送が業務緊急モードで放送されていると
きに点灯します。
業務緊急モードでは、アッテネーターの設定に
関係なく最大音量で放送が流れます。
緊急地震放送中も点灯します。

28. モニター選択スイッチ

モニターをする出力系統（非常用ジャンクシ
ョンパネル）を切り換えます。

29. モニター入／切スイッチ

放送モニター機能をオン／オフします。

ご注意

非常放送時および緊急地震放送時は、放送モニ
ター機能をオフにしている、自動的に音声が発
音されます。

30. モニター表示灯（緑）

放送モニター機能がオンのときに点灯します。
フロントマイクのトークスイッチ（18）がオン
のときは消灯します。

31. チャイムスイッチ [1、2]

業務放送で、チャイムを鳴らすスイッチです。
工場出荷時は下記のとおり設定されています。
チャイム1：上り4音
チャイム2：下り4音

32. チャイム表示灯 [1、2]（緑）

チャイムが鳴っている間、点灯します。

33. 緊急放送スイッチ [1、2、3]

業務放送で、メッセージをワンタッチで放送す
るスイッチです。

34. 緊急放送表示灯 [1、2、3]（緑）

緊急放送スイッチ（33）を押して緊急放送をし
ている間、点灯します。

35. 地震放送停止スイッチ

緊急地震放送を停止するときに押します。
緊急地震放送よりも非常放送を優先して行いた
いときに押します。
このスイッチは「緊急放送スイッチ4」として
使用することもできます。

ご注意

緊急放送スイッチ4として使用するには、あら
かじめ設定が必要です。また、付属の「緊急放
送スイッチ4用ラベル」を所定の箇所に貼り付
けてください。

36. 地震放送表示灯（緑）

緊急地震放送時に点滅します。

地震放送停止スイッチを「緊急放送スイッチ 4」
として使用するとき、緊急放送表示灯 1～3
(34) と同じはたらきとなります。

37. 異常受理スイッチ

システムに異常が発生したときに操作します。
異常警告音を停止するとき使用します。

38. 異常表示灯（橙）

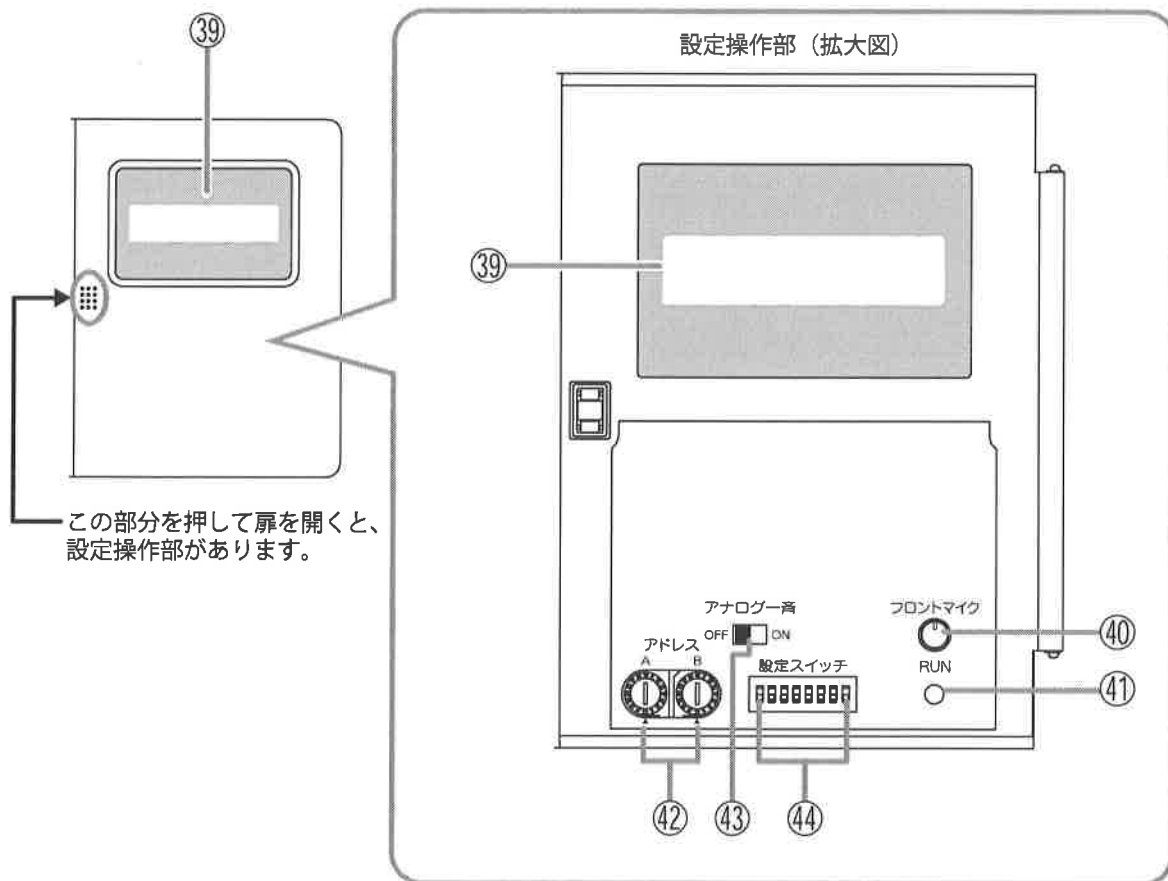
システムに異常が発生したときに点滅します。

異常受理スイッチ（37）を押すと、点灯に変わります。

原因を取り除いた後、FS-2000EP の異常解除
キーを押すと消灯します。

※ 異常が発生したときは、直ちに販売店または
保守契約店にご連絡ください。

● D 部



39. 液晶画面

非常放送時に必要な操作ガイドの表示、業務放
送時の放送状態の表示、および各種の異常状態
の表示を行います。

40. フロントマイク音量調節器

フロントマイクの音量を調節します。右へ回す
ほど音量が大きくなります。

● 注意

非常放送時は音量調節器の位置に関係なく最大
音量になります。

41. RUN 表示灯（緑）

本機が正常に動作している場合は、約 1 秒周期
で点滅します。

※ 異常が発生したときは、直ちに販売店または
保守契約店にご連絡ください。

42. アドレススイッチ

非常用リモコンのアドレスを設定します。

● 注意

電源投入後にアドレスを設定し直したときは、
必ずシステムを再起動させてください。

43. アナログー斉放送切換スイッチ

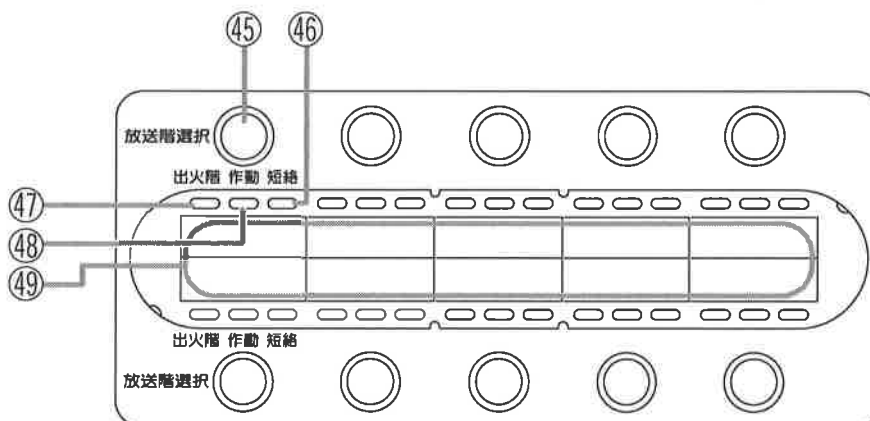
アナログー斉放送*のオン/オフを切り換えます。ON側にすると、フロントマイクによる一斉放送が全回線に流れます。異常発生時に放送したいときに使用してください。(工場出荷時の設定：OFF)

* FS-2000 システムのCPUの異常などで、非常放送、緊急地震放送、および業務放送ができないときに、フロントマイクから行う放送です。すべてのスピーカー回線に最大音量で放送されます。

ご注意

- アンプの故障やスピーカー回線の短絡など、異常によっては放送がされないエリアがあります。非常時には他の伝達手段による情報伝達が必要となります。
- マイク異常のときは、マイク放送はできません。非常時には他の伝達手段による情報伝達が必要となります。

● E 部

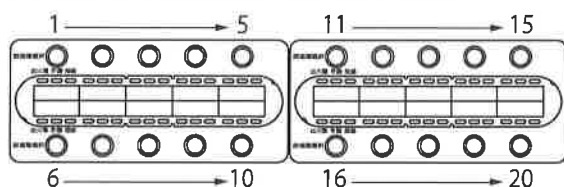


45. 放送階選択スイッチ

非常放送または業務放送をするときに、放送をする回線を選択します。

放送をする回線は、システム設定時に各スイッチに個別（1回線）またはグループ（複数回線）を登録して使用します。

本機には放送階選択スイッチを20個備えています。スイッチ番号は以下のとおりです。



48. 作動表示灯（緑）

放送階選択スイッチ（45）に登録されている回線の放送状態を表します。

消灯：回線未使用

1回点滅：1回線以上に本機以外が放送中

2回点滅：1回線以上が優先度により待機中

点灯：全回線に放送中

44. 設定スイッチ



● スイッチ 1

「ON」にすると、本機のユニットバージョンが液晶画面（39）に表示されます。

● スイッチ 2～8

使用しません。

(工場出荷時の設定：すべてOFF)

46. 短絡表示灯（橙）

放送階選択スイッチ（45）に登録されている回線の一部またはすべての回線が短絡しているときに点灯します。

47. 出火階表示灯（赤）

非常時に火階を表します。

自火報から階別信号が入力されると、該当する非常系統の放送階選択スイッチ（45）の出火階表示灯が点灯します。

49. 記名カード挿入部

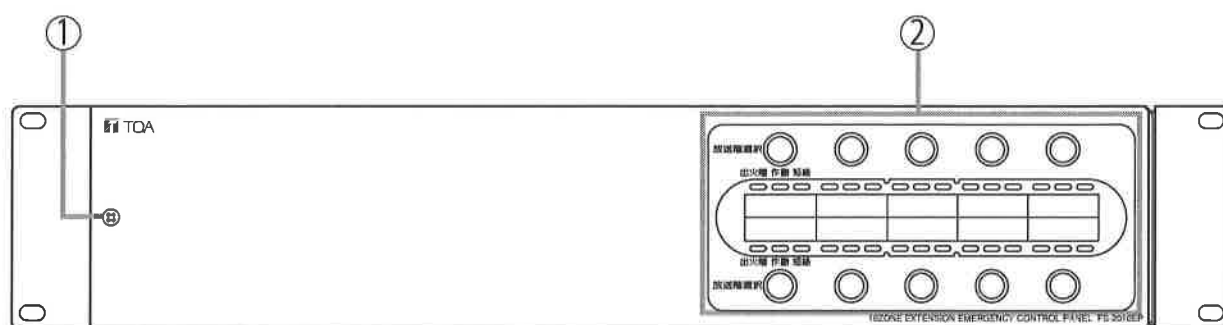
記名カードを挿入するスペースです。記名カードは出荷時に挿入された状態になっています。また、本書に記名カードのコピー台紙が付いて

■ 増設操作パネル FS-2010EP、FS-2020EP

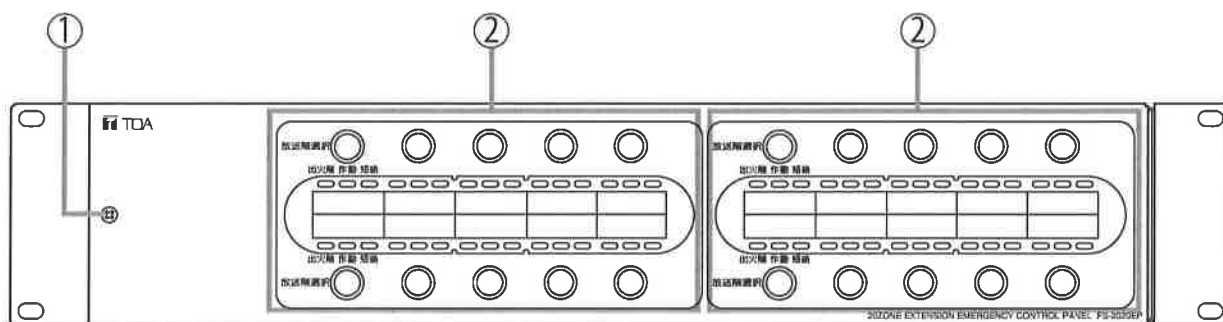
EIA 規格に適合するラックに取り付けることができる2Uサイズ*の増設操作パネルです。FS-2010EPは10局、FS-2020EPは20局です。

* 1U サイズ = 44.5 mm (基準サイズ)

[FS-2010EP 操作部]



[FS-2020EP 操作部]

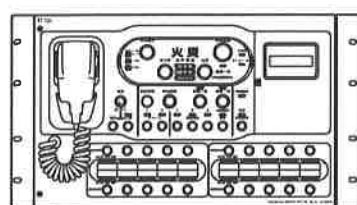


1. 前面扉固定ねじ

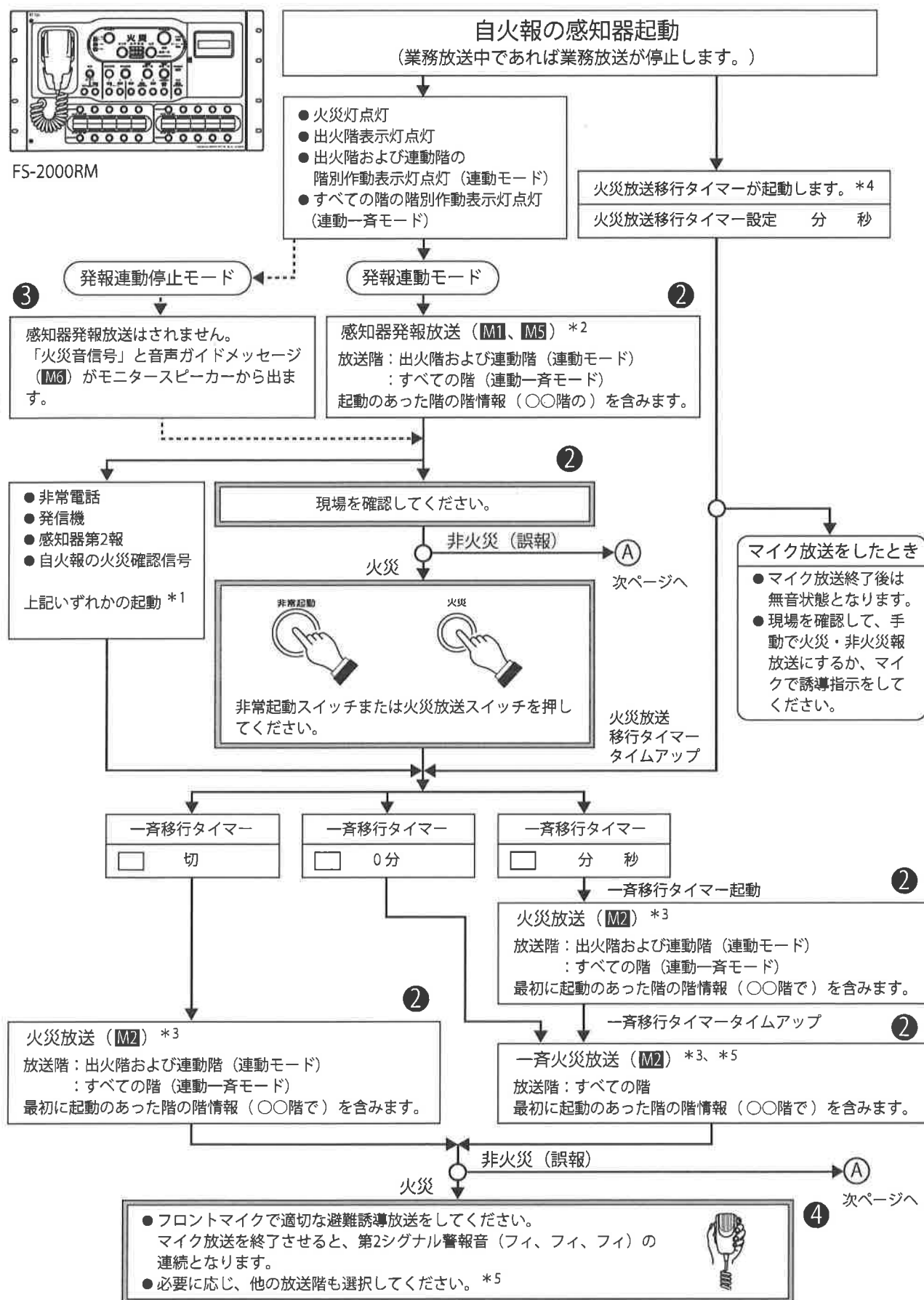
2. 操作部

非常用操作パネルFS-2000EPの操作部下部にある放送階選択スイッチ、出火階表示灯、作動表示灯、短絡表示灯、記名カード挿入部と同じはたらきです。(参照 P.6「E部」)

■ 自火報感知器起動の場合



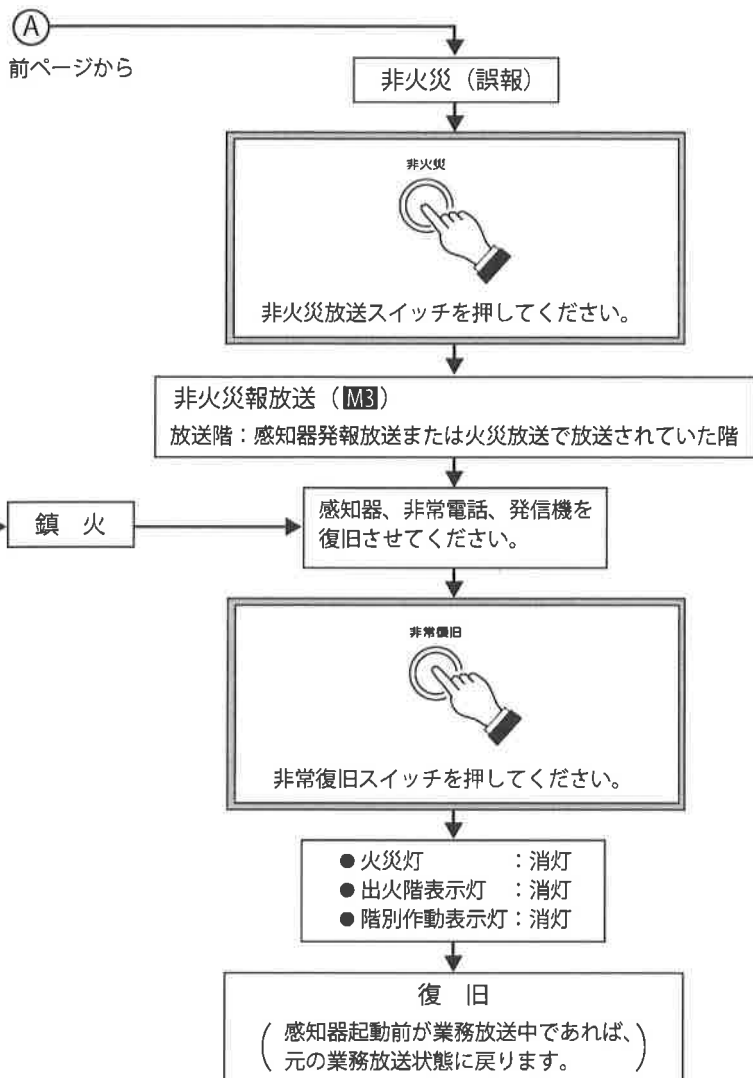
FS-2000RM



※ M1、M2などは、音声メッセージの番号を示します。

※ 丸数字は、その時点における操作パネル上の液晶表示(下記)を表します。

- ② カサイ → カサイハウソウ
ヒカサイ → ヒカサイハウソウ
- ③ カサイ → カサイハウソウ
ヒカサイ → ヒジョウフッキユウ
- ④ マイク ハウソウチュウ



②

感知器、非常電話、発信機を復旧させないで非常復旧スイッチを押した場合は、まだ火災状態と判断して、非常放送を始めます。

非火災や鎮火が確認されたときは、必ず感知器、非常電話、発信機を復旧させてから非常復旧スイッチを押してください。

マイク放送は最優先なので、いつでも放送することができます。*6

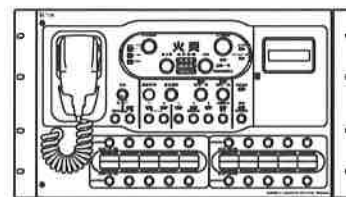
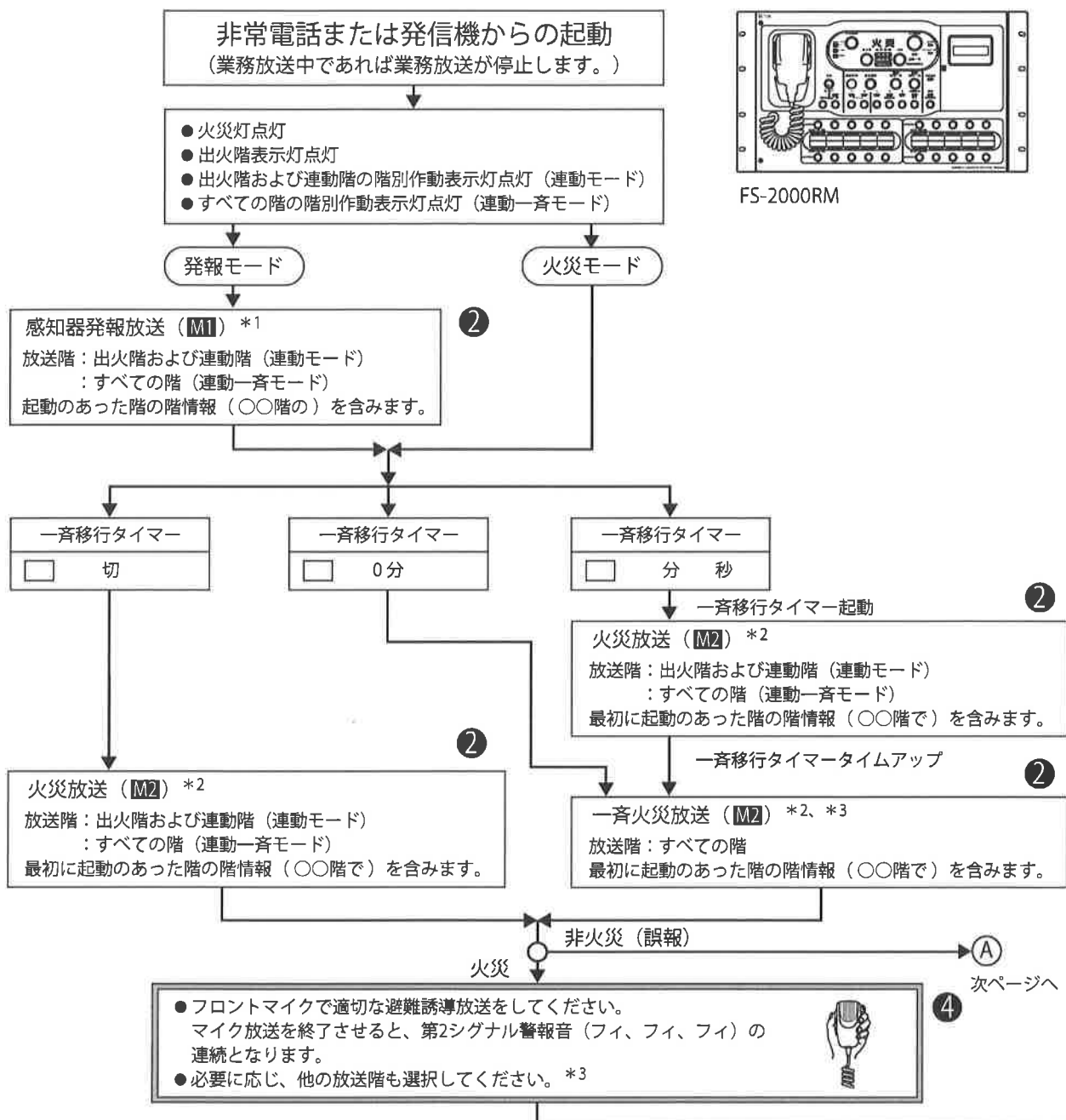
[操作中に動作が不安定なときは・・・]

設定操作部扉内のアナログー斉放送切換スイッチをON側にしてください。
フロントマイクから業務緊急モードで一齐放送を行うことができます。

アナログー斉
OFF ☐ ON
アナログー斉放送
切換スイッチ

- *1 異なる階の感知器が同時に起動したとき、または発報放送中に別の階の感知器が起動したときは、発報放送のメッセージ終了後、すぐに火災放送になります。
- *2 異なる階の感知器が同時に起動したときは、階メッセージ番号が最も小さい階の階情報(〇〇階の)を含んだ感知器発報放送を行います。
- *3 感知器発報放送後、新たに別の階の感知器が起動したときでも、火災放送では最初に起動のあったときの階情報(〇〇階で)を含んだ音声メッセージだけが放送されます。
- *4 火災放送移行タイマー作動中に放送復旧スイッチを押して、放送が復旧したときも火災放送移行タイマーは停止せず、作動を継続します。
- *5 一齐移行タイマーがタイムアップした後は、放送復旧を含む放送階の変更はできません。
一齐放送だけになります。
- *6 ただし、緊急地震放送は非常放送よりも優先されます。緊急地震放送中に非常放送をしたいときは、緊急地震放送停止スイッチを押して緊急地震放送を終了する必要があります。

■ 非常電話・発信機起動の場合



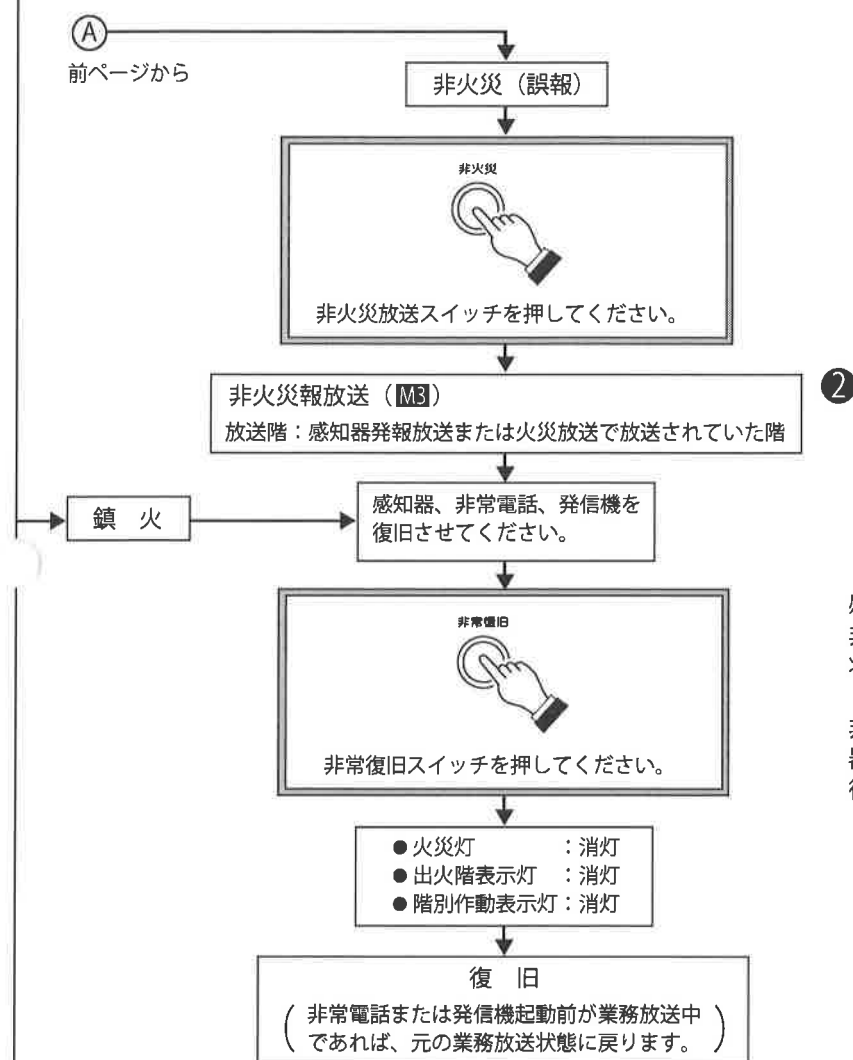
FS-2000RM

- *1 異なる階の非常電話・発信機が同時に起動したときは、階メッセージ番号が最も小さい階の階情報 (〇〇階の) を含んだ感知器発報放送を行います。
- *2 感知器発報放送後、新たに別の階の非常電話・発信機が起動したときでも、火災放送では最初に起動のあったときの階情報 (〇〇階で) を含んだ音声メッセージだけが放送されます。
- *3 一斉移行タイマーがタイムアップした後は、放送復旧を含む放送階の変更はできません。一斉放送だけになります。
- *4 ただし、緊急地震放送は非常放送よりも優先されます。緊急地震放送中に非常放送をしたいときは、緊急地震放送停止スイッチを押して緊急地震放送を終了する必要があります。

※ M1、M2などは、音声メッセージの番号を示します。

※ 丸数字は、その時点における操作パネル上の液晶表示(下記)を表します。

- 2 カサイ → カサイホウソウ
ヒカサイ → ヒカサイホウソウ
- 4 マイク ホウソウチュウ



感知器、非常電話、発信機を復旧させないで非常復旧スイッチを押した場合は、まだ火災状態と判断して、非常放送を始めます。

非火災や鎮火が確認されたときは、必ず感知器、非常電話、発信機を復旧させてから非常復旧スイッチを押してください。

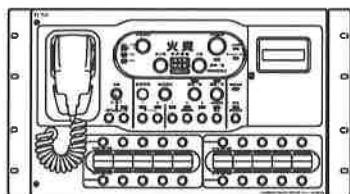
マイク放送は最優先なので、いつでも放送することができます。*4

[操作中に動作が不安定なときは・・・]

設定操作部扉内のアナログ斉放送切換スイッチをON側にしてください。
フロントマイクから業務緊急モードで斉放送を行うことができます。

アナログ斉
OFF ☐ ON
アナログ斉放送
切換スイッチ

■ 手動起動の場合

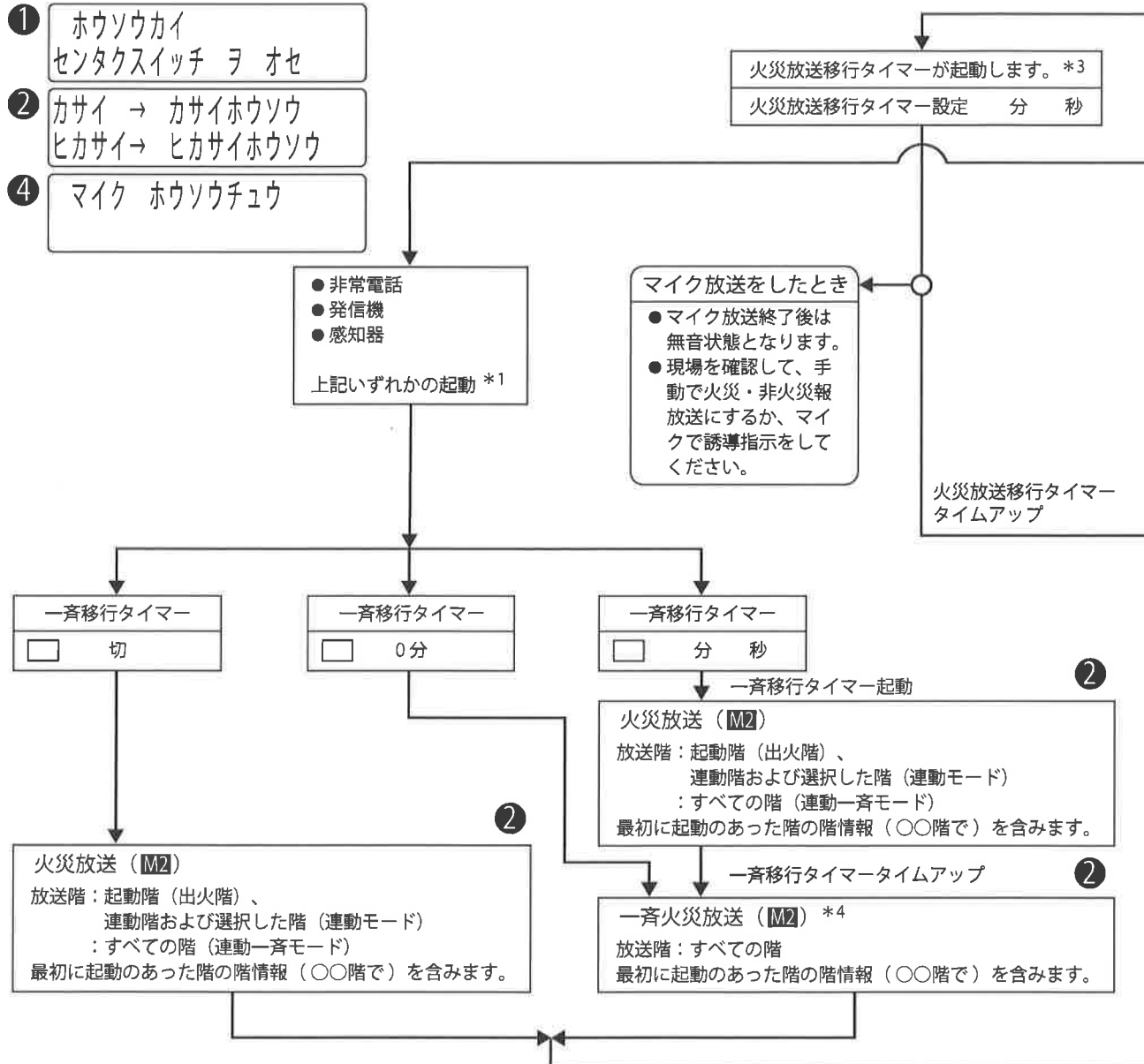


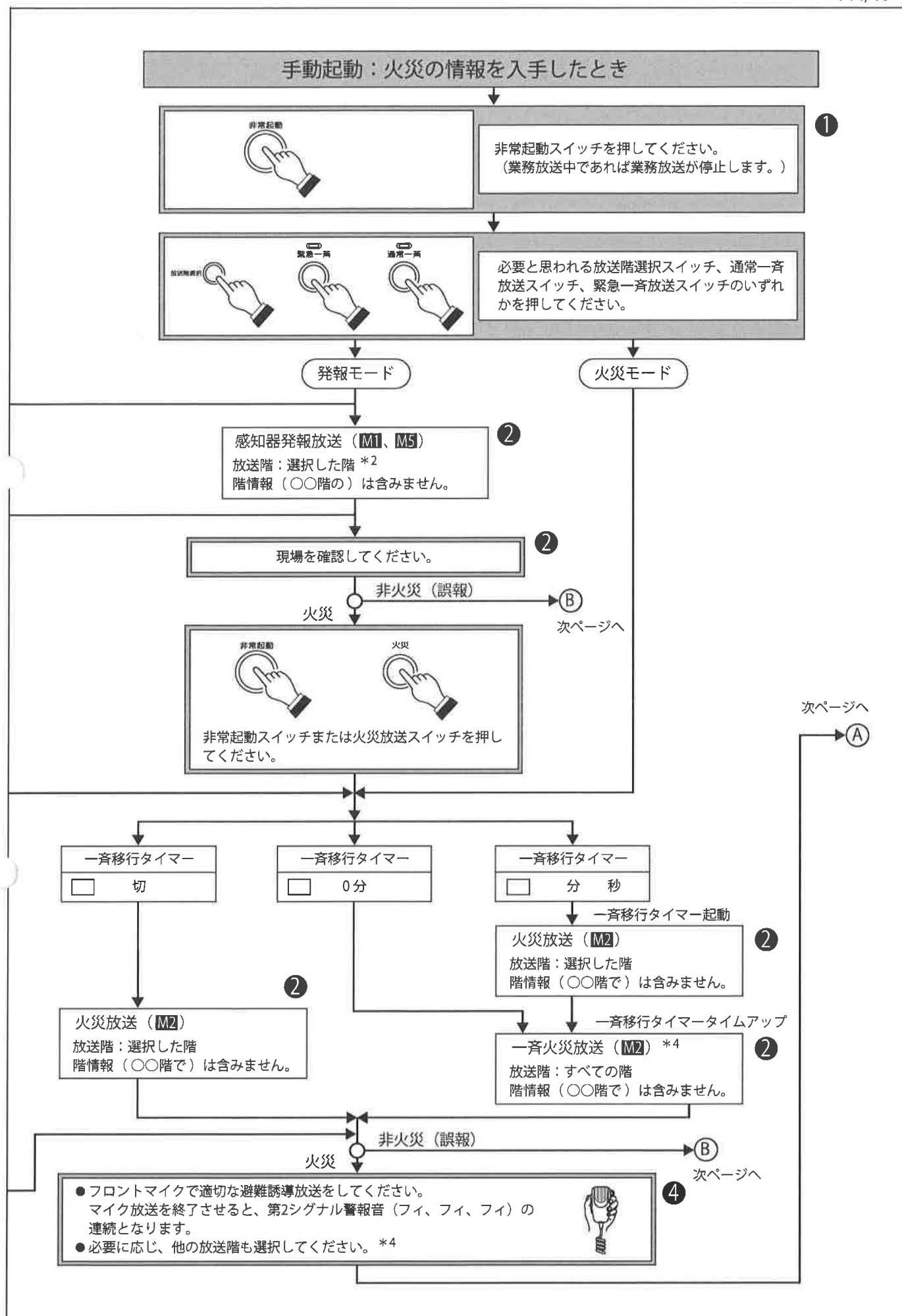
FS-2000RM

※ **M1**、**M2**などは、音声メッセージの番号を示します。

※ 丸数字は、その時点における操作パネル上の液晶表示(下記)を表します。

- ① ホウソウカイ
センタクスイッチ ヲ オセ
- ② カサイ → カサイホウソウ
ヒカサイ → ヒカサイホウソウ
- ④ マイク ホウソウチュウ





前ページから

②

非火災（誤報）



非火災報放送（M3）

放送階：感知器発報放送または火災放送で放送されていた階

②

前ページから

①

鎮火

感知器、非常電話、発信機を
復旧させてください。

- 火災灯 : 消灯
- 出火階表示灯 : 消灯
- 階別作動表示灯 : 消灯

復旧

（手動起動前が業務放送中であれば、
元の業務放送状態に戻ります。）

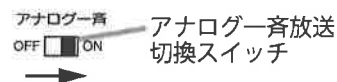
感知器、非常電話、発信機を復旧させないで
非常復旧スイッチを押した場合は、まだ火災
状態と判断して、非常放送を始めます。

非火災や鎮火が確認されたときは、必ず感知
器、非常電話、発信機を復旧させてから非常
復旧スイッチを押してください。

マイク放送は最優先なので、いつでも放送することができます。*5

[操作中に動作が不安定なときは・・・]

設定操作部扉内のアナログ斉放送切換スイッチをON側にしてください。
フロントマイクから業務緊急モードで斉放送を行うことができます。



- *1 発報放送中に起動したときは、メッセージ終了後に火災放送になります。
- *2 放送階を手動で選択したときは、選択した階のみに放送されます。
- *3 火災放送移行タイマー作動中に放送復旧スイッチを押して、放送が復旧したときも火災放送移行タイマーは停止せず、作動を継続します。
- *4 一斉移行タイマーがタイムアップした後は、放送復旧を含む放送階の変更はできません。
一斉放送だけになります。
- *5 ただし、緊急地震放送は非常放送よりも優先されます。緊急地震放送中に非常放送をしたいときは、
緊急地震放送停止スイッチを押して緊急地震放送を終了する必要があります。